



発行
 福島東高等学校同窓会
 住所 福島市浜田町12-21
 (024) 531-1551
 発行人 金子與志人
 題字 三浦賢一先生
 編集 福島東高等学校局
 同窓会事務局
 印刷 吾妻印刷

二〇二二年

福島東高等学校同窓会会長

金子 與志人



日頃、同窓会活動をご理解頂き、ご協力・ご支援に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

デルタ株からオミクロン株へと、新型コロナウイルスの脅威が衰えない状況下では、皆様と直接お会い出来るチャンスも無く残念なこの数年です。同窓生の皆様は、お変わりなくお過ごしでしょうか？

昨年開催できなかった総会を本年二月頃に開催できればと様子を見ておりましたが、昨年末

のうちに中止の判断をいたしました。誠に残念であります。状況が落ち着き、多くの方が安心して笑顔で参加できる時を待ってみたいと思います。来年明けの開催に期待を寄せつつ・・・

さて、昨年の会報で紹介した野球部OB会について報告します。

二〇二一年度の野球部OB会総会が、コロナ感染拡大の落ちてきている時に、尚且つ感染予防対策をしっかりと取りながら開催されました。私は、同窓会会長としてご招待いただき、一期生の西山先輩（県会議員・自由民主党福島県支部連合会幹事長）には来賓として花を添えて頂きました。

OB会の活動は、コロナ禍で思うようには出来なかった様ですが、斎藤敏朗OB会長を中心に学生や世代を超えた結束力を感じた次第です。卒業生の中には、現役選手で頑張っている方も居ると聞きました。東高卒業生からプロやメジャーが出るのも夢ではないかもしれません。創部四一年おめでとうございます。

その他の部活でも集まりの話題がありましたら、是非教えてください。ご協力やフォローしたいと思っております。

最後の話題は、コロナ禍で高校生活を過ごす在校生への思いです。そして受験生への敬意です。

一昨年春頃から新型コロナウイルスが感染拡大し約二年間の試行錯誤の毎日が続いています。正解は見つからないですが、その時のベター・ベストと信じて世の中は一步一步前進し

ていると思います。

しかし、一度しかない高校生活を送っている在校生や、不安の中で試験にチャレンジした受験生はどんな思いで日々を過ごしているのか心配です。国の制度・試験の柔軟な対応、不公平感のない教育機会など課題は山積んでいます。私達の手が届かない問題もあると思いますが、多くの意見や知恵があればそれを発信できる同窓会であっても良いのではと、私見ながら思う次第です。

この先一日でも早い収束を願うのは皆様と同じ思いです。その願いを持ちつつ、アフターコロナを見据えて、これからの在校生や受験生と保護者の皆様と道しるべを小さな事でも作ればと感じています。同窓会本来の活動要項にはありませんが、会自体も状況に合わせ臨機応変に対応していきたいです。

様々なご意見があると思いますので、お知恵も含め声を聞か

せて頂けると幸いです。

今年は『五黄の寅』：五黄土星と干支の寅が三六年に一度の周期で重なる年のことだそうです。あまり詳しく知らない私ですが良いことには便乗してポジティブに考えます。

皆様と皆様の大切な方々にとりまして、幸せが来る年になりますこと、ご祈念しております。拙い文章を最後まで読んで頂きありがとうございます。今後同窓会をよろしくお願います。



過去の同窓会会報のバックナンバーは同窓会Webサイトで閲覧可能です。下記QRコードを読み取るか、「福島東高校同窓会」で検索またはURLを直接入力してください。



「福島東を愛する一人として」

福島東高等学校長 二瓶 晃 一



同窓会の金子與志人会長を始め、同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して御支援と御協力をいただき感謝申し上げます。

本校は令和三年三月一日の卒業式で卒業生を送り出し、卒業生の総数が一二、九六九名となりました。そして四月八日には二四〇名の新生を迎えることができました。

昨年度の高校入試においては、志願倍率が一・三八倍（二四〇名の定員に対して三三一名が志願）となりました。ここ数年低倍率が続いていただけに嬉しい限りです。

創立以来本校は、文武両道をモットーとして多くの方々から支持を受けてきましたが、ここ数年の低倍率には、同窓生の皆様には御心配をおかけしたことと思います。少子化の影響もあり福島東高校といえども、人気

のある学校とし発展していくのは困難になりつつあると感じています。

とはいえ私は、様々な分野で活躍する同窓生に接する度に、本校の更なる発展のために全身全霊取り組まなければ、と感じる次第です。

つい最近ですがこんなことがあります。

同窓生の皆様も覚えていると思いますが、本校の西門とヨークベニマルとの間には、南北に延びた細長い通路があります。ここは市道ですが、ところどころアスファルトのくぼみが大きくなってきました。雨の日などは大きな水たまりが何カ所かでき、生徒たちの朝の通学に支障をきたしている状態でした。

そこで市道ですので学校で何とかできるものではないので、福島市役所に道路の補修をお願いに行きました。数名の担当者に実情を話すと、前向きに考えたいとの返事をいただきました。ただ、この時は正直、実現するにしても数年はかかるのかなと思っていました。

しかし、予想に反して（良い

意味で）、十月上旬には道路の補修が認められ、十月下旬から十一月上旬には工事に入れるとの連絡を受けました。あまりの早さに私も驚いたのですが、工事に関しての市役所の方々の最初の打合せでさらに驚いたことに、職員の一人が同窓生だったことです。

もしかして、この同窓生の尽力のお陰で、こんなに早く補修工事が実現することになったのかと、考えてしまいました。（実際には、自分が卒業した学校のために便宜を図ることは絶対ありませんが。）私は、本校の生徒たちを観察していると行動力がありいつもテキパキとしているので、これは卒業してからも変わらないのだと、勝手に解釈してしまいました。

本校には現在七人の同窓生が教員として活躍しています。どの先生も行動力がありいつもテキパキとしています。七人の先生を紹介すると次のようになります。

S先生は、学年主任として自らの行動力で生徒と担任団を引っ張っています。

A先生は、冷静沈着な仕事振りで学校を引っ張っています。

M先生は、この教科では福島県を代表する先生であり、県

の指導的立場にあります。
I先生、K先生、S先生の3人は、部活動指導に長け、福島県を代表する先生であり、県の指導的立場にあります。
H先生は、ICTを活用した教材開発や教科指導の分野で学校を引っ張っています。
どの先生も文武両道の校是の下、学習や部活動に有意義な学びを実践したからこそ、現在の活躍につながっているものと思われまます。



修学旅行の長崎にて

時代は変わり、生徒たちも変わってきている状況下ですが、文武両道の下、何事も最後までやり抜く力を育て、様々な分野で活躍できる人材を育成して行きたいと考えています。
素晴らしい生徒たちに恵まれてここまで成長してきた福島東高校が、これからもますます活気のある学校であり続けられるよう、教職員一同、全力を注いでいきます。

令和3年度福島県立福島東高等学校同窓会総会書面決議について

第2回役員会〔令和3年10月6日（水）開催〕において、令和3年度総会開催について検討した結果、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中での開催は困難であるとの決定がなされました。つきましては、同窓会報を通じての書面決議により会員の皆様から議事の承認を頂くこととなりました。

議事の可決については、下記の要領で進めることを、第2回役員会で決定しております。

同窓会規約 第12条 『総会の議事は出席者の過半数をもって決定する。』

- ① 会報送付者を総会出席者とする。
② 異議申立ては、同封の返信用はがきに必要事項を記入し、事務局への返送により行う。〔令和4年3月22日（火）事務局必着〕
③ ①-②の数が、会報送付者の過半数であることを確認して、議事の可決とする。
④ 議決結果については、令和4年3月末日〔令和3年度内〕までに、本校同窓会HPを通じて報告する。

なお、議案について不明点がありましたら、事務局〔TEL (024) 531-1551〕までご連絡願います。

会員の皆様に、ご不便をおかけしますことを、お詫び申し上げます。

議事

- 第1号議案 令和元年度、令和2年度会務報告・会計報告
第2号議案 令和3年度会務報告・会計見込報告
第3号議案 令和4年度予算（案）
第4号議案 役員改選（案）

【第1号議案】 令和元年度、令和2年度会務報告・会計報告 令和元年度

- 4月9日（月） 第40回入学式「同窓会長あいさつ」
6月12日（水） 第1回役員会 場所 ウェディングエルティ
7月19日（金） 全国大会激励金贈呈式（弓道部、ソフトボール部、放送委員会、サッカー部）
2月4日（火） 第2回役員会 場所 福島東高校
2月23日（日） 同窓会総会 場所 ウェディングエルティ
2月28日（金） 同窓会入会式
3月1日（日） 第38回卒業式「同窓会長あいさつ」

- ① 在校生支援事業（¥726,000）
○定期演奏会・発表会補助（¥150,000）
・吹奏楽部 第36回定期演奏会（¥50,000）
・合唱部 第16回定期演奏会（¥50,000）
・ダンス部 第12回定期発表会（¥20,000）
・美術部 39回桜美展（¥30,000）
○全国大会出場への激励金（¥540,000）
・弓道部（¥30,000） ・ソフトボール部（¥420,000）
・放送委員会（¥60,000） ・サッカー部国体（¥30,000）
○体育設備・部活動・委員会補助（¥36,000）
・ソフトボール部物品補助（¥36,000）
② 各種大会応援広告
③ 卒業記念品（卒業証書入用ホルダー）の贈呈
④ 「さまざまな職業人に聞く」の人的な後援（8名）
井上雅登氏 松川友久氏 工藤和典氏
渡邊摩美氏 齋藤弘樹氏 黒沢一省氏
鈴木潤氏 齋藤優景氏

令和2年度

- 4月8日（水） 第41回入学式「同窓会長あいさつ」
6月17日（水） 第1回役員会 場所 福島東高校 大会議室
7月31日（金） 全国大会出場選手激励金贈呈〔書道部、美術部〕
2月26日（金） 同窓会入会式
3月1日（月） 第39回卒業式「同窓会長あいさつ」

- ① 在校生支援事業（¥408,040）
○定期演奏会・発表会補助（¥50,000）
・合唱部 第18回定期演奏会（¥50,000）
○全国大会出場への激励金（¥90,000）
・書道部（¥30,000）

- ・美術部（¥60,000）
○体育設備等支援（¥268,040）
・バスケットボール部女子ユニフォーム（¥237,600）
・保健室車いす（¥30,440）
② 各種大会応援広告
③ 卒業記念品（卒業証書入用ホルダー）の贈呈
④ 「さまざまな職業人に聞く」の人的な後援（9名）
井上雅登氏（32期） 松川友久氏（14期） 渡邊摩美氏（22期）
齋藤弘樹氏（6期） 黒沢一省氏（1期） 鳥貫広昭氏（7期）
松下凌氏（32期） 荒武徳氏（4期） 菜花華氏（17期）

平成31・令和元年度 歳入歳出決算書

歳入金額 9,689,172円
歳出金額 9,123,839円
差引残額 565,333円

1. 歳入 ▲は減少 単位：円

Table with 5 columns: 項目, 31:元年度予算額, 31:元年度決算額, 比較増減額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 前年度繰越金, 雑収入, 40周年事業, 特別会計基金, 東高応援基金, 合計.

2. 歳出

Table with 5 columns: 項目(科目), 31:元年度予算額, 31:元年度決算額, 比較増減額, 備考. Rows include 総務費, 会議費, 旅費, 需用費, 総会費, 運営費, 事業費, 卒業証書費, 広告費, 会報費, 印刷費, 名簿管理費, 通信費, 会報郵送費, 情報保護費, 在校生支援費, 在 校 生 支 援 事 業, 公開文化祭後援費, 特別会計, 各種事業積立, 50周年事業積立, 特別会計積立, 40周年事業, 予備費, 合計.

* 項目科目間の流用を認める。

【同窓会積立金】

Table with 3 columns: 部, 金額, 金額. Rows include 収入の部 (前年度からの繰越金, H31年度一般会計より積立, 合計), 支出の部 (40周年事業予算として, 合計), 差引残高.

関係帳簿を厳正に監査した結果、適正に処理されていたことをご報告します。

令和2年6月17日 福島県立福島東高等学校同窓会監事



令和2年度 歳入歳出決算書

歳入金額 4,646,311円
歳出金額 3,572,417円
差引残額 1,073,894円

1. 歳入

▲は減少 単位:円

Table with 5 columns: 項目, 2年度予算額, 2年度決算額, 比較増減額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 前年度繰越金, etc.

2. 歳出

Table with 5 columns: 項目(科目), 2年度予算額, 2年度決算額, 比較増減額, 備考. Rows include 総務費, 事業費, 会報費, etc.

* 項目科目間の流用を認める。

【同窓会積立金】

Table showing income and expenditure for the alumni fund, including items like 前年度からの繰越金 and 40周年事業繰入金.

関係帳簿を厳正に監査した結果、適正に処理されていたことをご報告します。

令和3年6月1日 福島県立福島東高等学校同窓会監事

上原子祐司 (Seiichi Uehara)

【第2号議案】 令和3年度会務報告、計画・会計見込報告

令和3年度

- 4月8日(木) 第42回入学式「同窓会長あいさつ」
6月14日(月) 第1回役員会 場所 福島東高校 大会議室
7月16日(金) 全国大会激励金贈呈式(書道部、美術部)
10月6日(水) 第2回役員会 場所 福島東高校 大会議室

<計画>

- 2月28日(月) 同窓会入会式
3月1日(火) 第40回卒業式「同窓会長あいさつ」

① 在校生支援事業 (¥462,000)

- 定期演奏会・発表会補助 (¥130,000)
・合唱部 第19回定期演奏会 (¥50,000)
・吹奏楽部 第38回定期演奏会 (¥50,000)
・美術部 桜美展 (¥30,000)

○全国大会出場への激励金 (¥90,000)

- ・書道部 (¥30,000)
・美術部 (¥60,000)

○体育設備等支援 (¥242,000)

- ・放送委員会 パソコン (¥148,280)
・保健室診察台 (¥93,720)

② 各種大会応援広告

③ 卒業記念品(卒業証書入用ホルダー)の贈呈

令和3年度 歳入歳出決算見込書(案)

歳入金額 5,410,368円
歳出金額 3,188,191円
差引残額 2,222,177円

1. 歳入

▲は減少 単位:円

Table with 5 columns: 項目, 3年度予算額, 3年度歳入見込額, 比較増減額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 雑収入, etc.

2. 歳出

Table with 5 columns: 項目(科目), 3年度予算額, 3年度決算見込額, 比較増減額, 備考. Rows include 総務費, 事業費, 会報費, etc.

* 項目科目間の流用を認める。

【同窓会積立金】

Table showing income and expenditure for the alumni fund, including items like 前年度からの繰越金 and R3一般会計より積立.

【第3号議案】令和4年度予算(案)

令和4年度 歳入歳出決算予算書(案)

歳入金額 5,767,000円
歳出金額 5,767,000円
差引残額 0円

1. 歳入 ▲は減少 単位:円

Table with 4 columns: 項目, 4年度予算額, 3年度決算額, 比較増減額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 前年度繰越金, 雑収入, 特別会計基金, 東高応援基金, 合計.

2. 歳出

Table with 4 columns: 項目(科目), 4年度予算額, 3年度決算額, 比較増減額, 備考. Rows include 総務費, 事業費, 会報費, 通信費, 在校生支援費, 各種事業積立, 予備費, 合計.

* 項目科目間の流用を認める。

【同窓会積立金】

Table with 3 columns: 部, 内容, 金額. Rows include 収入の部 (前年度からの繰越金, 合計), 支出の部 (合計), 差引残高.

【第4号議案】役員改選(案)

Table comparing current and new officers. Columns: 現行役員, 新役員. Rows: 会長, 副会長, 監事.

名誉会長 尾形 幸男 (1期)
顧問 西山 尚利 (1期: 県議会議員)
顧問 橋内 重康 (1期)

【理事(各期から2名前後)】

- List of council members by term: 1期 小川洋太郎・益田秀明, 2期 久保田佳克・永井貴博・杉内 剛, 3期 塩谷邦彦・佐藤雄一郎, 4期 梅津真樹・堀江明彦, 5期 鳴川哲也・大槻昌史, 6期 角田勝利・香野貴則, 7期 高橋 崇・浅野 悟, 8期 橋本央隆・阿部克紀, 9期 鈴木 徹・斎藤幸紀, 10期 佐藤和典・朝香聡志, 11期 伊藤 敬・菊地一也, 12期 加藤秀法・菅野史教・安齋 淳, 13期 今野敬樹・渡辺 茂, 14期 広野功二郎・富加須慎・阿部善重, 15期 丹治芳史・大沼正浩, 16期 高橋百恵・渡辺俊介, 17期 紺野 徹・土屋映梨, 18期 米尾啓之・田子仁美, 19期 片平美代子・今江一仁, 20期 渡邊元毅・羽田真幸, 21期 千葉絵美・渡部康大, 22期 星かつみ・堀江真太郎, 23期 加藤亜寿沙・羽根田建志郎, 24期 佐藤亮介・岡沼夏美, 25期 高原隼人・山形俊介, 26期 千代間祥之・熊坂江里子・鈴木 怜, 27期 稲月 智・古俣舞子, 28期 渡辺大樹・高橋理央・加藤修平, 29期 眞島 慧・北村有歌代, 30期 菅 直斗・大橋らな・北野望実, 31期 田中信頼・引地初奈, 32期 鹿野捷人・佐藤美奈, 33期 古林 凌・佐藤桐香, 34期 尾形沙月・菅野 慧, 35期 齋藤善哉・志賀洋希望・油井しいな, 36期 齋藤海波・畠 祐斗・石川夏希, 37期 中平雅也・丹治太一, 38期 松井 新・石添優人, 39期 松浦 学・今宮大心, 40期 阿部遥喜・藤本僚真

同窓生注意!

同窓会事務局を名乗る電話が同窓生の自宅にかかってくるという苦情が学校に寄せられることがあります。同窓生の携帯電話の番号や現住所を聞くことが多いようです。事務局では一切このような電話をしておりませんので注意して下さい。なお、このような場合、「東高に確認してみます」と対応して下さい。

同窓会からの連絡は郵送と同窓会Webサイトで行っています。電話等による問い合わせは原則的にはしません。どうしても電話連絡が必要な場合は、東高あてに掛け直してもらっています。

東高の電話番号は 024-531-1551 です。

福島県立福島東高等学校同窓会規約

昭和58年2月28日施行
平成17年2月26日改正施行
平成19年12月2日改正施行
平成28年6月6日改正施行

[名称および事務局]

第1条 本会は福島県立福島東高等学校同窓会と称し、事務局を福島東高等学校内におく。

[目的および事業]

第2条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は次の事業を行う。

1. 総会の開催
2. 会員名簿・会報の発行
3. 母校の後援
4. その他本会の目的達成に必要な事項

[会 員]

第4条 本会の会員は、本校卒業生並びに本校の退転校者で総会に承認された者とする。

[役 員]

第5条 本会に次の役員をおく。

1. 会 長 1 名
2. 副会長 3～5名
3. 理 事 若干名
4. 監 事 3 名
5. 幹 事 若干名

第6条 役員を選出は次のとおりとする。

1. 会長・副会長および監事は会員中より理事会において推薦し、総会で決定する。
2. 幹事は卒業年次毎に各クラスから2名を互選する。
3. 理事は幹事の中から会長が任命する。
4. 名誉会長は前会長とする。

第7条 役員の任務は次のとおりとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は職務を代行する。
3. 理事は会の運営にたずさわり、会務を処理する。
4. 監事は会計を監査する。
5. 監事は他の役員を補佐し、会務運営の推進をはかる。

第8条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

[顧 問]

第9条 本会に名誉会長と顧問をおける。顧問は会長が委嘱し、会長の諮問に応ずる。

[総 会]

第10条 総会は会長が召集し原則として年一回開く。ただし、会長が必要と認めた時は臨時総会を開くことができる。

第11条 総会では次の事項を審議し決定する。

1. 事業報告並びに決算の承認
2. 事業計画並びに予算の承認
3. 役員選出
4. 規約の改廃
5. その他重要な事項

第12条 総会の議事は出席者の過半数を持って決定する。

第13条 総会はその権限の一部を理事会または会長・副会長・監事で構成される役員会に委任することができる。

[理事会]

第14条 理事会は会長・副会長・監事・理事をもって構成する。

第15条 理事会は会長が召集し、本会運営上必要な事項を審議・決定するとともに本会の業務の執行にあたる。

[事務局]

第16条 事務局は関係表簿を備え、庶務、会計を執行する。

第17条 事務局はその業務の一部を母校職員に委嘱することができる。

[会 計]

第18条 本会の経費は入会金・終身会費・寄付金・その他の収入でまかなう。

第19条 本会は入会に際し、入会金6,000円・終身会費6,000円を納入する。

第20条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月末日までとする。

第21条 年度会計決算ならびに年度予算案は会長・副会長・監事の了承をもって総会の承認にかえることができる。

附 則 1. この規約には次の規程が付属する。

○在校生支援規程

福島県立福島東高等学校同窓会在校生支援規程

1. 部活動での支援事業を行う。

①年度100万円を上限とする。

②同窓会会計、東高応援基金ならびに同窓会積立金から支出する。

2. 全国大会等へ出場する場合は以下の激励金を支給する。

①団体種目 登録人数(マネージャーを含む)×3万円

②個人種目 1人につき3万円

③文化部 3万円

④団体種目に関しては、50万円を上限とする。

⑤年度1回を限度とする。

⑥同窓会積立金から支出する。

⑦上記①～③の時でも会長が必要と認める場合、50万円を上限として支給することができる。

福島県立福島東高等学校同窓会特別会計規程

〔目的〕学校における教育活動の中で、校長からの要請があった場合、支援のための支出を行う。

1. 支出については以下の通りとする。

①最初の会計の金額を500万円とする。原資は同窓会積立金から拠出する。

②年度100万円を上限とする。ただし、この金額を超える場合には役員会で審議の上支出することができる。

③補填は一般会計の周年事業積み立ての半分とする。

2. 校長からの要請があった場合、役員会で審議・決定する。

「東高応援基金」 協賛者名

(敬称略)

※(○)は卒業期、()は旧姓

○「東高応援基金」について

文武両道に全力で取り組む後輩達に金銭的な支援を行うことを目的に平成十七年度から始まったこの事業に多くの同窓生にご賛同いただきありがとうございます。今後の在校生支援を継続して行く財源の確保のため、この「東高応援基金」へさらに多くの同窓生の方にご協力をいただきますようお願いいたします。同封した振込み用紙または同窓会のサイトにてお願いいたします。その際、おわかりになっていれば、卒業年度もしくは何期かをご記入下さい。

なお、ここ数年にわたって福島市役所の職場同窓会である福島市役所東桜会から、部活動支援のためにという趣旨で多額のご寄付があります。これは部活動支援のための後援会会計に繰り入れ活用させていただいております。このような職場同窓会の活動に心より感謝申し上げます。

卒業生

西山尚利(1)笹木毅(1)酒井祥秀(1)

- 秋山達也(1)橋内重康(1)渡辺真一(1)加藤和宏(1)板橋竜男(1)大槻瑞也(1)大平睦生(1)菊池浩二(1)佐藤浩明(1)赤井義則(1)穴戸佐寿(2)小野浩樹(2)渡辺伸一(2)目黒幹浩(2)斎藤正機(2)津田克也(2)渡辺武浩(2)永井貴博(2)金子與志人(3)佐久間真二(3)尾形典良(3)鈴木友彦(3)西條正美(3)太田幸人(3)寺島健吾(3)安田清克(3)下島仁(3)坂巻幸司(3)原田政彦(3)齋藤孝一(3)大内則和(3)蒲倉達也(3)佐藤和生(3)山田昌信(3)岡田正明(3)小林雄(3)安藤武仁(3)高根功幸(3)外山淳一(3)菅野功(3)紺野勝弘(3)泉田太郎(3)森進一(3)齋藤文孝(3)大井奨(3)須田秀一(3)紺野信幸(3)峯智和(4)真柴直史(4)宗像和人(4)木村智(4)古関邦彦(4)吉川裕(4)渡辺政彦(4)佐々木正則(4)佐藤真一(4)梅津清(4)小野友史(5)大槻達也(5)尾形隆(5)丹治聡一郎(5)渡辺伸克(5)三宅一秀(5)高橋真人(5)上川高志(5)佐藤芳幸(5)穴戸義浩(5)小竹智行(5)作山稔樹(5)佐藤忠之(5)伊藤隆(5)下田克典(5)手塚健一(5)菅野晃弘(5)手塚健一(5)小野弘人(6)阿部裕一(6)佐藤利久(6)後藤洋一(6)滝本裕彦(6)高橋城士(6)羽根田修(6)丹治裕一(6)鈴木一義(6)穴戸敢一(7)大波哲也(7)阿曾一寛(7)長谷川剛志(7)黒江昌宏(7)松本琢也(7)大槻勉(7)安齋晃(8)渡辺昌幸(8)武井慎(8)関克典(8)植木博隆(8)鈴木淳(8)関根

- 良平(8)加藤智裕(8)斎藤晃一(8)渡辺勝美(9)鈴木健一(9)川瀬哲雄(9)鈴木勇人(9)齋藤嘉紀(9)菅野巧(9)丹治章近(9)安齋保雄(9)斎藤哲(9)後藤政則(9)大槻進也(9)佐藤浩規(9)高橋誠(10)穴戸利彦(10)加藤芳彦(10)内山雄史(10)佐々木靖広(10)遠藤司(10)蔭山隆(10)石井哲司(10)齋藤功(10)熊坂隆行(10)野口幸哉(10)紺野正人(10)佐藤誠(10)渡邊賢司(10)渡辺剛智(10)吉田耕嗣(10)菅野悟史(11)宮崎康弘(11)芳賀利規(11)高坂知秀(11)武藤達也(11)佐竹康弘(11)橋本博(11)清野貴史(11)齋藤讓(12)阿部友弘(12)大槻祐司(12)菅野剛(12)幕田誠一(12)鈴木健太郎(12)吉成圭(13)鳴原健二(13)根本和彦(13)渡邊勝己(13)鈴木順一(13)本多真史(13)渡邊巖(13)石川亨(13)阿部樹(13)廣野功二郎(14)齋藤博靖(14)木幡健一(14)丹治剛俊(14)中村充浩(14)安部友彦(14)本多貴洋(14)齋藤訓朗(15)菅野元樹(15)佐藤龍彦(15)植健至(15)守山直樹(15)橋本真(16)古関康宏(16)三浦佑一郎(17)阿部信一(17)大葉(尾形)真希(17)鳴原智宏(17)水野裕史(18)榊(後藤)千佳(18)今野陽介(18)伊東健一(18)野口(大槻)雪乃(18)根本元徳(18)齋藤真紀子(18)片平美代子(19)浅川吉和(19)三浦佑一(19)櫻田貴志(20)二瓶真人(20)阿部真治(20)武藤勝也(20)武藤正昭(20)岡野朋子(20)羽田真幸(20)齋藤元(21)齋藤広彰(21)大月哉(21)野口鮎美(21)佐藤美智子(21)山本拓也(21)三浦祐美(22)

- 阿部健治(22)渡邊亮(22)塩谷卓也(22)和田(古積)かおる(23)添田英二(23)鳥居広基(23)林直人(24)國分優佳(24)中野孝海(24)菅野章平(24)菅野数宙(24)菅野貴文(24)阿部兼太郎(24)菅野峻介(24)佐藤卓也(24)平井(高橋)真理奈(24)宮本圭太(25)阿部真理子(25)千代間祥之(26)菅藤脩平(26)佐藤智洋(26)松浦由樹(27)佐藤芳哉(27)小野貴史(27)根本明大(27)塩谷昌之(27)佐藤望(28)山崎勇貴(28)五十嵐絵里(28)澤井友平(28)伊東道(28)加藤真弓(29)菅藤雄介(29)木村真嘉(29)宮田凌佑(30)西谷地利穂(30)服部祥貴(30)佐藤雅(31)高橋史弥(31)永野拓海(31)澤井直久(31)豊田大智(31)吉田友和(31)吉田雅俊(31)油井真理絵(32)山岸勇士郎(32)金子耕也(32)赤間大樹(33)鈴木連(33)丹治航(33)菅野裕日子(34)加藤佳耶子(34)塩澤裕理(34)吉野高基(34)長谷川遼(35)五十嵐寛樹(35)佐藤世理(35)鈴木あきよ(35)坂下喜朗(35)浅野晴暉(35)松本彩来(35)佐々木晴大(36)小河原大樹(36)齋藤朋華(36)長田健太郎(36)齋藤海波(36)中平雅也(37)鈴木藍(37)丹治太一(37)安部響紀(37)菅野晴菜(37)佐藤大典(37)木村茉桜(37)石川偉史(37)鈴木優輔(37)関優太(37)濱尾春樹(37)松井新(38)佐藤歩(38)菅野朝陽(38)安齋憂輝(38)小野凌雅(38)金谷健人(38)笹木大揮(38)佐藤美月(38)佐藤麻由(38)菅野愛由里(38)村上智哉(38)齋藤萌(38)小河原弘大(38)木村勇斗(38)鈴木正春(38)高澤優



也(38)七宮諒(38)山口隼也(38)
旧職員 星 和久、八巻淑子、松浦健二、田村秀夫、矢部邦子、加賀美静男、齋藤和也、高柴智子、三浦賢一、諏佐一夫、深澤陽一、平山宏、遠藤教広、皆川郁夫、佐藤馨、長岐博、久保田慎一、渡辺州、安齋充、黒澤元省、中村康伸、平岩典男、本多光弥

一般個人 加藤義博

福島市役所東桜会

◎ 令和三年四月一日から現在までに振り込みがあった方を掲載しました。保護者名で振り込まれた場合は生徒名で報告させていただきます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。氏名等の誤りがありましたら、事務局までご一報下さい。

(表1) 年度別 現役合格者 延べ人数

卒業年度	1期 S57年	2期 S58年	3期 S59年	4期 S60年	5期 S61年	6期 S62年	7期 S63年	8期 H1年	9期 H2年	10期 H3年	11期 H4年	12期 H5年	13期 H6年
学級数	6	6	6	6	8	8	8	8	9	9	9	9	9
卒業者数	(281)	(265)	(262)	(283)	(365)	(361)	(372)	(376)	(427)	(423)	(431)	(421)	(408)
国公立大	72	57	78	62	93	70	103	78	65	88	109	96	109
私立大	160	117	144	129	199	180	225	259	188	278	291	333	299

卒業年度	14期 H7年	15期 H8年	16期 H9年	17期 H10年	18期 H11年	19期 H12年	20期 H13年	21期 H14年	22期 H15年	23期 H16年	24期 H17年	25期 H18年	26期 H19年
学級数	9	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8
卒業者数	(403)	(357)	(354)	(351)	(354)	(362)	(350)	(358)	(359)	(314)	(316)	(318)	(313)
国公立大	85	109	113	114	145	150	115	165	153	154	171	126	139
私立大	418	413	327	313	311	346	349	247	248	305	318	329	351

卒業年度	27期 H20年	28期 H21年	29期 H22年	30期 H23年	31期 H24年	32期 H25年	33期 H26年	34期 H27年	35期 H28年	36期 H29年	37期 H30年	38期 R元年	39期 H2年
学級数	8	8	8	8	8	7	8	7	7	7	7	7	7
卒業者数	(310)	(307)	(316)	(311)	(315)	(281)	(312)	(275)	(274)	(275)	(264)	(270)	(275)
国公立大	165	115	134	139	109	94	102	90	100	112	80	88	90
私立大	240	284	265	373	319	334	438	390	362	340	340	345	376

(表2) 大学別合格者数 (令和2・元・平成30年度入試)

	大学名	令和2年度生	令和元年度生	平成30年度生
国立	北海道大	0	0	0
	北海道教育大(釧路)	1	0	0
	北海道教育大(岩見沢)	0	1	0
	北海道教育大(旭川)	1	0	0
	北海道教育大(函館)	3	0	0
	室蘭工業大	3	0	0
	岩手大	1	2	0
	東北大	0	1	1
	宮城教育大	1	0	1
	秋田大	2	3	0
	山形大	6	12	9
	福島大	36	34	27
	茨城大	2	2	1
	筑波大	0	2	1
	宇都宮大	0	2	5
	埼玉大	2	1	1
	千葉大	0	1	0
	東京学芸大	1	0	0
	東京農工大	0	1	0
	新潟大	5	2	9
	上越教育大	0	0	1
	金沢大	0	0	1
	琉球大	1	0	0
	千歳科学技術大	1	0	0
	名寄市立大	0	0	1
	青森公立大	0	2	0
	青森県立保健大	1	0	1
	岩手県立大	0	0	0
	宮城大	2	1	3
	秋田県立大	2	6	1
	山形県立保健医療大	0	1	0
	山形県立米沢栄養大	0	1	1
	会津大	4	5	2
	福島県立医大(看)	8	4	2
	前橋工科大	0	1	0
	横浜市立大	0	0	1
	新潟県立大	3	1	6
	新潟県立看護大	0	0	1
	長岡造形大	0	1	0
都留文科大	0	1	1	
長野大	2	0	1	
静岡県立大	2	0	0	
福知山公立大	0	0	2	
その他	0	0	0	
計		90	88	80

	大学名	令和2年度生	令和元年度生	平成30年度生
私立	仙台大	6	4	12
	東北学院大	72	56	56
	東北福祉大	41	22	40
	東北医薬科大	1	2	2
	宮城学院女子大	8	16	22
	東北芸術工科大	1	1	2
	国際医療福祉大	5	5	11
	白鴎大	15	16	10
	獨協大	2	1	1
	文教大	3	3	3
	女子栄養大	0	1	0
	神田外語大	3	1	0
	淑徳大	0	3	0
	青山学院大	2	2	1
	亜細亜大	1	0	1
	北里大	4	0	1
	國學院大	0	0	0
	国土館大	5	7	1
	駒澤大	1	2	0
	芝浦工業大	1	1	2
	成蹊大	0	0	0
	成城大	0	0	1
	専修大	3	3	2
	大東文化大	3	4	2
	玉川大	1	3	1
	中央大	1	3	2
	帝京大	2	1	2
	東海大	4	15	4
	東京理科大	0	2	0
	東京工科大	3	0	0
	東京農業大	3	0	9
	東洋大	1	3	1
	日本大	25	22	16
	日本社会事業大	0	0	1
	法政大	1	2	2
	明治大	3	3	1
	明治学院大	1	1	0
	神奈川大	3	4	5
	関東学院大	0	0	1
新潟医療福祉大	12	1	0	
同志社大	2	1	1	
立命館大	0	1	0	
その他	137	133	124	
計		376	345	340

現役大学等進学率…令和2年度生 (86.6%)、令和元年度生 (86.7%)、平成30年度生 (82.2%)

新型コロナウイルスの影響により、二〇二二年度大学入学共通テストは、例年と異なる点が多かった。本試験が二回行われた



進路指導主事
霜山 麻美

進路

他、追試験が全県で行われた。また、共通テストの志願者数は前年比九六%と過去最大の減少率となった。受験者数も前年比九二%となり、受験率(受験者数/志願者数)は昨年の九五%から九〇%に大きく減少した。出願はしたものの、受験を

取りやめた生徒が例年以上に多かつたことを示している。

共通テストの問題については、センター試験に比べて解答マーク数が減少した科目が多かつた。一方、グラフ、地図、写真、文章など読み取る資料の分量が全体的に増加した。また、授業における学習場面、日常生活の中から課題を発見して解決方法を構想する場面、資料やデータをもとに考察する場面などの、学習過程を意識した出題設定が見られた。

共通テストの平均点については、数学Ⅰ・数学Aが十五・八点、数学Ⅱ・数学Bが十一・〇・九点アップとなった。数学Ⅱ・数学Bでは、丁寧な誘導がついていたため、多くの受験生には取り組みやすい問題になった。また、生物基礎と化学基礎の平均点がダウンしたが、生物では、解答に必要なデータの分析に比較的易しいものが多かつたことや、問題の分量が減少したため、平均点が高くなった。そのため、物理と化学で得点調整が行われ、得点がアップした。さらに、現代社会と政治・経済で得点調整が行われ、得点がアップした。七科目文系型の平均点は五五・五点(前年差+三・二学年八点)、七科目理系型五七・一点(前

年差+一九点)ととくに理系が増加した。

国公立大学の志願者数は各日程とも減少した。とくに前期日程は前年比九七%と二年連続で減少し、過去最少の志願者数を更新した。また、志願倍率(志願者数/募集人員)は初めて三倍を割り込んだ。後期日程の志願者数は前年比九七%と減少率は小幅となった。今春も後期日程の廃止・縮小は進んでいるものの、共通テストの平均点がアップしていることから、後期日程まで出願した様子が見えなかった。

私立大学の志願者数は前年比八八%と大幅に減少した。要因は、大学志願者数の減少に加え、出願校数を抑える受験生が例年以上に多かつたためと考えられる。

本校では国公立大学の合格者は九十名、昨年度より二名の増加となった。福島大学三十六名、福島県立医科大学八名、東京学芸大学一名、埼玉大学二名の合格者を出すことができた。総合型、学校推薦型選抜での合格者が三十九名と多く、早期に志望を固めた結果と考えられる。福島県立医科大学は、今年度から保健科学部を新設、四学科中三学科に計五名の合格者を

出すことができた。今後も学校推薦型選抜も利用して合格者を出していきたい。

令和七年度からはさらに大きく入試が変わる。情報が共通テストの教科に加わり、国立大学は必須とする方針を表明している。教科数が増加することにより、負担増加は避けられない。時間割の組み方、課外で取り扱う教科等、検討しなければならぬ課題は多いが、生徒の進路実現に向けて教員で協力しあつて解決していきたいと考えている。

39期総括

39期担任 渡邊 一広

今までの入学生と同様に部活動と学習を両立させようと少し不安がありながらも希望に満ち溢れている子供たちと学年主任日高郁子をはじめとする福島東高校を熟知しているおよび「?」という教員で三十九期生の高校生活が始まりました。

進学校に入學してきた三十九期生は第三学年次には共通テストに変わる初年度の生徒たちです。国語、数学には記述問題が加わり、英語外部試験が導入され、高校時代に何を行ってきた

かを生徒自らが作成する「学びのデータ」提出など大学入試制度が変わると大きく変わる事になりました。課題は共通テスト、「学びのデータ」提出にどのように対応していくかでした。

特に、大学入試選抜において「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するための生徒個人が作成する「学びのデータ」提出に対して、全ての学校活動に対しての記録、生徒個別の活動に対しての記録を残すことが重要であり、ポートフォリオの構築を進めました。部活動と学習以外のプラスアルファの部分が必要になりました。

入學してくる生徒の中には与えられる課題に期待・満足し、学習に関して受け身的な生徒が多くいます。この入試制度は、福島東高校をステップアップするために、福島東高校の潜在的に存在する一面を変えるには「学びのデータ」提出は良いチャンスと担任団は考えました。

一年次から様々な活動を通して、視野を広げ大学受験等に向けた意識の向上を図るために今まで行われていた活動「学問入門講座」「学問探究講座」「さまざまな職業人に聞く」に加えて、「東大へ行く」「東工大へ行く

う」「つくばサイエンスツアー」等を企画し、さらに総合的な学習の時間を使って、どのように問いを立てるかという初歩から始める探究活動を行い、生徒自ら考え、判断し、行動することを仕掛けていきました。

学習に関して二年次後半から、学年団は生徒の主体性を育む指導の必要性を実感し始め、与えられた課題をただこなす安心している生徒にさらに危機感を感じました。

生徒の主体性を育むため、「教員が手をかけ、量を与える指導」から「生徒自身が考え、選び取る指導」に転換を図ろうとしました。長期的・中期的目標を立てることを含め、何の教科・科目を、どのように、何を使って、いつまでに、学習するのかを具体的に計画させることを「自走化」と銘打ってスタートさせたのです。

そのようなとき、全国で新型コロナウイルス感染症が拡大し、新型コロナウイルス感染症予防のため二年次の三月は登校なし。三年次は、四月、五月は臨時休校、分散登校になり波乱のスタートになりました。しかし、自走化を進めていたこと、先生方のインターネット配信があり、生徒自身が自分のペース

で学習できる貴重な機会と向きにとらえ、対面での授業ができなくとも時間を有効に活用することができました。

ただ、学校行事・生徒会行事・学年行事が中止・延期になり、生徒たちの活動の場が制限され、行事の中でのはちきれんばかりの笑顔、真剣な眼差し、他を思いやりながら協働する姿を見る機会がなくなりました。これは残念でした。特に部活動においては三年間の集大成であるインターハイ予選、コンクール等が中止となり、無念な気持ちを抱えている生徒を見るといたたまれなくなりました。

進路に関しては、大学の推薦型入試の定員増もあり、学校推薦型・総合型の受験者数、合格者数が前年の一・五倍になりました。学びたいことが明確になつている生徒、学習・部活動以外のプラスアルファの活動をした生徒の合格率が特に高かったように思われます。一般入試を含め、例年通り多くの生徒が大学進学を果たしてくれました。進学先が北海道から沖縄まで広範囲になったことが特徴的なことです。

大学入試制度・共通テストの変更により、新型コロナウイルス感染症予防による様々な制



限に耐え、全員が最後の最後まで全力で福島東高生らしく高校生生活を頑張ってくれました。生徒たちは今後の人生の中で、まなならぬ状況でも自分ができることを考え、常に最善の行動を取ってくれるでしょうし、その力がついたことを確信しています。

最後に、三十九期生をいつも笑顔で見守り、進路実現に力を尽くされ、卒業式を終えたあと、天国に旅立たれた日高郁子先生のご冥福をお祈りいたします。

東北・全国大会出場報告

東北大会出場報告

陸上競技部顧問 菅野 悟史

まず、本校同窓会並びに陸上部OB会、保護者会など多くの方々にサポートいただいで活動できていることに感謝申し上げます。

さて、六月十八日から岩手県北上市で開催された東北高等学校陸上競技大会に安齋由一郎(一一一)と長峰礼(一一二)の二名が出場した。今大会も新型コロナウイルス対策のため無観客での開催となり、様々な場面での制限はあったものの、無事大会が開催されたことに感謝したい。

安齋は100m、長峰は走高跳に出場した。全国インターハイに出場するにはこの東北大会で六位に入賞しなければならぬシステムである。安齋は県大会を二位で通過し、県大会の10秒八〇はランキング三位に位置し、全国大会を狙える位置で迎えた大会であった。長峰は県大会を五位で通過、まだ一年生ということもあって今後を見据えた上での大会であった。

安齋は、予選を無事通過し、



迎えた準決勝。ここを通過すれば全国大会が見えてくると考えていた。スタートは一回で決まらず、岩手の選手が不正スタートにより失格。二回目でのスタート。中盤からの伸びが安齋の持ち味であるが、動きが固く伸びにかけ、四着でのゴール。残念ながら決勝には進めなかった。ランキング上位ということでもプレッシャーもあったと思われるが、この悔しさをバネに来年は必ず全国大会出場を勝ち取ってくれると信じている。

長峰は初の東北大会ということもあり、緊張もあつて残念ながら記録なしではあったが、一年生でありながら、東北大会を経験できたことは今後の成長に

繋がると思う。

この二名は十月に行われた県高校新人陸上でも上位入賞し、東北大会への出場権を獲得したが、新型コロナウイルスの影響で東北大会が中止になってしまった。来年のインターハイ出場を目指すうえで大事な大会であっただけに非常に残念であった。

来年度こそ全国大会の出場報告ができるように、部員一同切磋琢磨し、頑張っていきたい。

Bosesの挑戦

(東北大会出場報告)

柔道部顧問 佐々木勝宏

昨年度はコロナ禍の影響でインターハイをはじめとする高校生のスポーツイベントが軒並み中止となり、本来ならば全国大会以上への出場が対象となるはずの本コーナーに、東北大会出場報告を寄稿させていただきました。「今年こそは全国大会出場報告を」と意気込んで一年間活動してきたところですが、残念ながら悲願叶わず、今年も東北大会出場の出場報告をさせていただきます。次年度です。

一月二十二日(二十三日)に宮城県石巻市で開催されました第四十四回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会に、『福島

東の二枚看板」こと月館龍之介(二一)と小手森建斗(一一)が、気合を入れて頭を丸め、新ユニット「Booses」を結成し参戦しました。

【二〇kg級 月館龍之介】

昨年に続いて二回目の出場。昨年は福島県北地区における新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんど練習らしいことができぬまま出場しながら、ベスト8に進出しました。今年も年末年始に充実の遠征・練習・調整をこなしての参戦で、ベスト4進出を目標に掲げました。

初戦の相手は盛岡大学附属高校の石綿選手。右の相四つで長身の選手です。序盤、スロースターターの月館にしては珍しく矢継ぎ早に技を繰り出し、相手に「指導」が与えられます。その後も終始優勢に試合を進め、本戦の三分間が終了しました。ところが、延長戦に入ると相手が組み手を変えてきました。月館も応じますが、奥襟を掴まれ頭を下げられたのち、抵抗して棒立ちになったところ足元に背負投で潜られて「技あり」を献上。万事休しました。本人も私心、心のどこかに油断があったことは否めません。戦術も甘かったのだと考えます。正に一瞬の隙が命取りとなる柔道の怖

さを改めて学ぶ機会となりました。ちなみに彼は、昨年度からこれまで「県大会六大会連続二位入賞」という快挙を達成しています。来年こそは『シルバードルコレクター』の汚名を返上し、「七度目の正直」でインターハイ出場を勝ち取るものと期待しております。

【七十三kg級 小手森建斗】

畳を降りても何かとお騒がせの小手森ですが、高い柔道IQと強いフィジカルに裏打ちされた豪快なフアイトスタイルは、県柔道界でも一目置かれていま

す。直前に胃腸炎を患い五日間まったく練習ができず、調整不足で本番を迎えましたが、それを気力で補うべく、剃髪しスキンヘッドで戦いに臨みました。初戦の相手は秋田工業高校の栗原選手。左の相四つでかなりの長身です。組手の対策を十分に練りましたが、試合の入りで相手に有利なところを掴まれてしまします。なんとか難を逃れ徐々に自分のペースを掴むと、前日の調整でチェックした、袖の絞合いからの低い背負投で「技あり」を奪取。その後も試合の流れを支配して同じ技で「技あり」を取り、合技での一本勝ちとなりました。

二回戦の相手は青森一位で青森北高校の強豪中村選手。中村選手とは年始に郡山で行われた合宿の稽古で手を合わせており、小手森は子ども扱いされました。「格上」の相手にどう挑むかが注目される場所です。相手右のケンカ四つでしたが、立ち上がりいきなり逆回転の背負投(通称「韓国背負」)を打ち、相手を大きく崩します。惜しくもポイントとはなりません

でしたが、相手はこれで出鼻を挫かれて慎重になりました。その後も小手森は技を出し続けて相手に「指導」が与えられます。しかし、どこかに逃げの気持ちがあったのか、不十分な組手と体勢で技を掛け急いで潰れてしまい、偽装的攻撃の「指導」を与えられました。その後も中村選手の強烈な内股をなんとか凌いで本戦の三分間が終了。この時点で病み上がりの小手森のスタミナは激しく消耗していました。延長戦に突入後も果敢に技を繰り出していききましたが、やはり不十分な投技を掛け潰れてしまい偽装的攻撃の「指導」。小手森の挑戦が終わりまし

かし、相手に十分な組手をつくらず、自分が先に技を繰り出していくという戦術がピタリとはまり、格上相手に互角以上は渡り合ったことは大いに評価でき、次に繋がるものと確信しています。型にはまらず粗削りな彼の柔道には、まだまだ伸びしろを感じます。今後は更に得意技をしつかりと磨きつつ、柔道衣を脱いだ時の立ち居振る舞いが柔道家としての成長の礎となることを忘れることなく、精進してくれることを期待します。

ところで、人が己の何かを賭けて戦いに挑むとき、覚悟や気合を形として表現するために頭髪を短く切る、という行為を選択することがあります。これについては賛否両論あるところでしょうし、私自身も髪型と競技力に相関関係はないと考えます。しかし、選手が自らの意思で、「勝ちたい」という強い想いを断髪という形で表現することを否定するものではありません。その選手たちの執念を、結果へと繋げることができなかったのは、私の指導者としての力量不足であり、今後も更なる研鑽を重ねながら、選手たちの成長に寄り添っていきたくと考えます。

最後となりましたが、今後とも後輩たちへの御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会のみならず大会の御発展を祈念申し上げ、大会

出場報告とさせていただきます。



全国高等学校総合文化祭(和歌山大会) 出場報告
全国高等学校総合文化祭(東京大会) 出場権獲得報告
書道部顧問 阿部祐太郎

令和三年八月三日(五日)、和歌山県白浜町で開催された全国高等学校総合文化祭の書道部門に三年生の遠藤瑠夏が福島県代表として出場してまいりました。遠藤はこれまで漢字の「楷書」作品を中心に、全国展や県内のコンクールで多くの賞を受賞し、その中でも六朝楷書(中国の南北朝時代に北朝で発達した楷書体の総称)の古典に代表される「龍門造像記」という作品を得意としており、今回出品した作品は大字と小字を組み合わせた構成で三尺(90cm)×八尺(240cm)の紙面に力強く表現しました。

大会会場(白

浜町立総合体育館)のある白浜町は、海沿いにあることからリゾート地として知られ、

またアドベンチャーワールドというテーマパークではジャイアントパンダが育成されていることでも有名です(今回は見ることができませんでしたが)。

会場では、楷書・行書・草書・隸書・篆書の漢字作品や、情感豊かな仮名作品、自分の思いを言葉にして表現する漢字仮名交じりの書など各県代表生徒の作品約三〇〇点が陳列されており、高校生とは思えないほどのその技術力と表現力の高さに深く感銘を受けました。大会では鑑賞交流会も行われ、紀州漆器風の文鎮に好きな漢字を書き入れる制作を通して他県の代表生徒との、親睦を深めることができました。新型コロナウイルスの影響で大会実施も危ぶまれましたが、最後まで通常通りに大会を進行してくださった運営

「魏靈藏造像記」



二二二 渡邊美南海

「孫秋生造像記」



三一 遠藤 瑠夏

や、ボランティアで参加してくれた地元の高校生スタッフの方々に心から感謝いたします。また、今年度十月に行われた福島県の選考会では、二年生の渡邊美南海の作品が大賞に選出され、来年度八月に東京都で開催される全国高等学校総合文化祭に福島県代表として出場することが決定し、本校書道部からは三年連続で全国大会出場権を獲得することができました。現在、書道部は六名という少人数での活動となっていますが、今後も上級生が築いてきた伝統を受け継ぎながら、それぞれの理想とする書を追求して日々の練

習に取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、今回コロナ禍でありながら全国大会出場という貴重な経験をさせていただけたことや、同窓会から励ましのお言葉と多大な激励金をいただいたことに心から感謝申し上げますとともに、今後もしっかり支援くださいますようお願いいたします。

全国高等学校総合文化祭(和歌山大会) 出場報告

美術部顧問 真柴 毅

全国高等学校総合文化祭(以下「総文祭」という)は、毎年夏に行われる高校文化部の全国大会です。演劇や郷土芸能、弁論、自然科学など約二十部門あり、開催は都道府県の持ち回りで、文化庁と全国高校文化連盟、地元自治体などが主催しています。「文化部のインターハイ(全国高等学校総合体育大会)」とも呼ばれ、昨年度の高知大会は新型コロナウイルスの影響によりWeb公開となりましたが、四十五回目の今年度は七月三十一日から八月四日の日程で二年ぶりに現地である和

歌山県で開催されました。

本校美術部からは美術・工芸部門に二年生の阿部蓮と長尾実穂の二名が福島県代表として出品しました。二人とも各種展覧会やコンクールで入選、入賞を重ねてきた実力者です。今回出品した油絵も昨年度の県高等学校美術展で構成や完成度を高く評価され、三三〇点の中から県代表作品の六点に選ばれました。本校美術部としては、二年連続二名選出の総文祭参加になります。

会場である県立近代美術館、県立博物館、県民文化会館は、紀州徳川家五十五万石の和歌山城の近くにありました。各会場には全国から選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像など、三九五点の作品が所狭しに並べられています。新型コロナウイルス感染症対策のため時間指定



「未練なんてないけれど」

二二三 阿部 蓮

や入場制限が行われていたが、どの会場の、どの作品からも現代に生きる若者のみずみずしい感性とあふれる創造力が伝わってきました。ただ、近年充実していた彫刻作品は、感染防止の観点から共同制作が敬遠されたよう個人制作によるものが多く、例年よりも質の低下を感じました。

今回は対面による作品鑑賞交流会は中止になったものの、部門開会式と講演会は間隔を空けた座席指定で、制作体験交流会は分散型で例年通り行われました。和歌山県出身の画家で多摩美術大学名誉教授の野田裕示氏の講演と作品鑑賞は現代アートの身近に感じさせ、また和歌山県の特産品である紀州備長炭の研磨作業による箸置き制作体



「剥がしても剥がしても」

二二六 長尾 実穂

験は生徒のよいお土産になりました。和歌山の地で体験したこれらアートの世界を福島に持ち帰り、生徒にはこれからの創作活動を広げていってほしいと思います。また、来年度の大会(東京大会)こそ全国から集まった生徒たちが対面で互いの作品について話し合い、協働で制作し合える総文祭本来の場として開催できるように願ってやみません。

総文祭への参加にあたり、同窓会から励ましのお言葉と多大な激励金をいただきました。心から感謝申し上げますとともに、今後も御支援くださいますようお願いいたします。

東北大会出場報告

水泳部顧問 佐藤 道郎

同窓生として十七年振りに復帰した東高で、まさか水泳部の顧問として同窓会会報に原稿を寄せるとは思ってもいませんでした。今年度は三年生が一名、二年生が一名、インターハイと新人戦で東北大会に出場した選手がおりますので、ご報告させていただきます。

六月に会津で開催された県大会を勝ち上がり、秋田での東北大会に駒を進めたのは、三年一

組の小野琴葉と、二年三組の角田拓人でした。煌びやかで近未来的な公共施設に圧倒されながら向かった秋田県立総合プールで、小野は女子二〇〇m自由形に出場し、健闘むなしく二分二七秒九一のタイムで惜しくも決勝進出を逃しました。一年次以来の東北大会で本人には並々ならぬ思いがあり、最後まで立派に全力を出し切ってくれました。角田は一〇〇m自由形に出場し、こちらも五六秒四五のタイムで決勝進出はかきませんでした。初めての大舞台で緊張もあつたでしょうが、堂々の泳ぎっぷりでした。

郡山で開催された新人戦を勝ち上がり、盛岡での東北大会に出場したのも角田です。三年生の引退後、部の部長かつエースとして県大会でも素晴らしい泳ぎを見せてくれ、東北大会での活躍も期待されました。盛岡市立総合プールの東北大会で、角田は男子五〇m自由形に出場し、持ち前のスピードを発揮し二四秒六八で、惜しくも全体十二位で決勝進出を逃しました。二度の東北大会での試合経験は角田を大いに成長させてくれたはずであり、来年度最上級生として臨むインターハイでは、全

国大会出場という目標を必ずや達成してくれるのでは：と期待せずにはられません。

余談ですが、角田の父は男子校最後の学年である東高十五期生であり、私が東高で最初に担任したクラスの生徒でもありました。角田の父も現役時代は水泳部の選手として活躍しており、その息子の顧問になれたことに不思議な巡り合わせを感じております。

部の統廃合の波は東高水泳部も飲み込み、現在の二年生以降新入生は入っておらず、来年度をもってその長い歴史の幕を閉じることになります。エース角田を筆頭に、水泳部六名(全て男子です)は、自らの引退と廃部という大きな区切りを必ずや素晴らしい成績で飾ってくると信じております。残り僅かな期間ではありますが、同窓会の皆様の一層のご声援とご支援を心からお願ひし、また東高同窓会のみならず、ご発展を心より祈念して、ご報告と致します。



福島県立福島東高等学校

同窓会Webサイトが完成しました!

最新の情報を続々発信していきます!
イベント開催などのお知らせを掲載!!

- 会報誌
- 活躍する同窓生
- 応援基金や募金

QRはここから!

寄付についてクレジット決済ができるようになりました!
今まで振込だけでしたが、クレジット決済が選択可能になりました!

- QRから申し込みページにアクセス!
- 「東高応援基金」をクリック。
- 詳細ページの「カード」に入れるをクリック。
- 支払い方法を選択し、手続きは完了です!

同窓生の皆様、ご支援の程よろしくお願ひします!

発行：福島県立福島東高等学校同窓会

昨年度発行の同窓会報17号に同封しましたが、同窓会の鈴木勇人副会長のご尽力のもと、福島東高校の同窓会専用のWebサイトが完成し運用しております。

同窓会に関する様々な情報(活躍する同窓生や同窓会報のバックナンバー)が掲載されておりますのでぜひご覧ください。

また、同窓生支援のための応援基金や募金もこのサイトから行うこともできますので、ご協力いただくと大変ありがたいです。

福島県立福島東高等学校 同窓会Webサイト
URL : <https://f-higashi.jp/aboutus.html>

令和三年度部活動報告

運動部

野球部

第64回春季東北支部高等学校野球選手権大会

1回戦 0-10 聖光学院

(6月11日・ほばら大泉球場)

第103回全国高等学校野球選手権福島大会

2回戦 16-0 平商

(7月8日・信夫ヶ丘球場)

3回戦 6-3 田村

(7月16日・ヨーク開成山スタジアム)

4回戦 2-3 学法石川

(7月18日・ヨーク開成山スタジアム)

第73回秋季東北地区高等学校野球福島県大会東北支部大会

1回戦 2-3 福島西

(8月28日・ほばら大泉球場)

第73回秋季東北地区高等学校野球福島県大会

1回戦 12-1 郡山東

(9月15日・ヨーク開成山スタジアム)

2回戦 6-1 石川

(9月17日・ヨーク開成山スタジアム)

3回戦 4-5 会津学鳳

(9月23日・ヨーク開成山スタジアム)

第32回秋季東北支部高等学校野球大会

1回戦 2-10 福島成蹊

(10月23日・県営あづま球場)

サッカー部

高円宮杯JFA U-18サツ

カーリーグ2021(十六沼サッカー場他)

4/3 3-0 福島工業

4/10 1-0 郡山

4/17 0-1 尚志セカンド

5/3 1-2 学法石川

5/8 3-1 郡山商業

6/12 3-2 帝京安積セカンド

6/19 4-0 白河

6/26 5-0 いわき光洋

7/3 2-1 福島工業

7/10 3-0 郡山

7/17 0-1 尚志セカンド

7/24 5-0 ふたば未来

8/28 1-0 ふたば未来

9/18 2-1 郡山商業

9/20 6-1 白河

9/23 2-1 帝京安積セカンド

10/2 8-0 いわき光洋

10/9 1-2 学法石川

【第3位 得点王・守屋巧】

高円宮杯JFA U-18サツ

カーリーグ2021 福島県北(十六沼サッカー場他)

4/17 3-0 福島

5/1 2-0 安達

5/5 1-0 福島南

6/12 3-1 成蹊

6/19 3-0 松韻福島

6/26 2-0 本宮

7/3 4-2 橘

7/17 2-1 福島明成

7/23 0-0 福島商業

8/18 0-0 聖光3rd

9/23 1-0 福島西

【第1位 F2入替戦】

人替戦

12/18 2-1 郡山北工業

12/19 0-2 帝京安積サード

【第1位】

第67回福島県高等学校体育大会県北大大会(5/14/5/17)

十六沼サッカー場

2回戦 3-0 福島商業

準決勝 7-0 本宮

決勝 3-0 福島工業

【第1位】

第67回福島県高等学校体育大会県北大大会(5/28/6/6)

十六沼サッカー場・[Village]

2回戦 2-1 いわき光洋

3回戦 3-2 学法石川

準決勝 1-2 尚志

第3代表決定戦

2-2 聖光学院

【第3位】

第100回全国高等学校サッカー選手権大会福島県大会

(10/16/11/7 西部サッカー場ほか)

4回戦 4-0 安積

準々決勝 1-0 ふたば未来

準決勝 1-4 尚志

【第3位 優秀選手・長澤悠

晟・守屋巧】

令和3年度福島県高等学校新

人体育大会県大会

(11/27/12/5 いわきグ

リンフィールド)

2回戦 0-1 郡山

【卓球部】

福島県高等学校体育大会県北

地区予選

男子

学校対抗 第7位(県大会出場)

個人シングルス

小野・佐々木・町田

(県大会出場)

女子

学校対抗 第6位(県大会出場)

個人シングルス

植野輝・植野星(県大会出場)

個人ダブルス

植野輝・植野星

(県大会出場)

福島県高等学校体育大会県大会

男子

学校対抗

1回戦 0-3 帝京安積

個人シングルス

佐々木 3回戦敗退

町田 2回戦敗退

小野 1回戦敗退

女子

学校対抗

1回戦 3-2 郡山商業

2回戦 3-2 磐城桜が丘

3回戦 2-3 福島東稜

(ベスト8)

個人シングルス

植野星 2回戦敗退

植野輝 1回戦敗退

個人ダブルス

植野輝・植野星

準々決勝敗退(第7位)

福島県総合体育大会卓球競技

県北地区予選

男子

個人シングルス

伊藤 県大会出場

女子

個人シングルス

植野 県大会出場

【福島県総合体育大会卓球競技

県大会

男子

個人シングルス

伊藤 1回戦敗退

女子

個人シングルス

植野 2回戦敗退

【令和3年度全日本卓球選手権

大会県北地区予選

男子

ジュニアシングルス

伊藤 県大会出場

女子

ジュニアシングルス

植野・遠藤・林 県大会出場

ダブルス

遠藤・植野(ベスト8)

林・松浦 県大会出場

混合ダブルス

木村(教員)・植野

(ベスト8) 県大会出場

【令和3年度全日本卓球選手権

大会福島県予選

男子

ジュニアシングルス

伊藤 2回戦敗退

女子

ジュニアシングルス

林 2回戦敗退
 植野 1回戦敗退
 遠藤 1回戦敗退
 ダブルス
 遠藤・植野 1回戦敗退
 林・松浦 1回戦敗退
 混合ダブルス
 木村(教員)・植野 4回戦敗退(ベスト16)
 ▼福島県高等学校新人体育大会
 県北地区大会
 男子
 学校対抗 予選敗退
 個人シングルス
 予選敗退
 個人ダブルス
 予選敗退
 女子
 学校対抗 第3位 県大会出場
 個人シングルス
 植野・林・遠藤 県大会出場
 個人ダブルス
 遠藤・植野(第3位)
 林・松浦 県大会出場
 ▼福島県高等学校新人体育大会
 女子
 学校対抗
 1回戦 3―2会津
 2回戦 3―2平商業
 3回戦 0―3郡女大付属
 (ベスト8)
 個人シングルス
 植野 3回戦敗退(ベスト32)
 遠藤 2回戦敗退
 林 1回戦敗退
 個人ダブルス
 遠藤・植野 2回戦敗退

陸上競技部
 林・松浦 2回戦敗退
 ▼第67回福島県高等学校体育大会
 会陸上競技 県北地区予選会
 ※入賞3位以内のみ
 男子
 100m 安齋由一郎 第2位
 200m 添田昂弥 第3位
 400m 添田昂弥 第2位
 800m 鈴木 諒 第1位
 1500m 遠藤滉己 第1位
 5000m 遠藤滉己 第2位
 3000m S C 奥野陽太 第2位
 4×400m R 第2位
 安齋由一郎・添田昂弥
 萩原滉陽・長澤 椋
 女子
 300m 神田七海 第3位
 4×100m R 第3位
 近野伊織・齋藤菜月
 菅野朱里・石橋 悠
 4×400m R 第3位
 近野伊織・齋藤菜月
 菅野朱里・神田七海
 総合
 男子総合 第2位
 男子トラック 第1位
 女子トラック 第3位
 ▼第67回福島県高等学校体育大会
 会陸上競技
 男子
 100m 安齋由一郎 第2位
 ※東北大会出場
 800m 鈴木 諒 第7位
 1500m 遠藤滉己 第7位
 3000m S C 奥野陽太 第8位
 女子

走高跳 長峰 礼 第5位
 ※東北大会出場
 ▼第76回東北高等学校陸上競技大会
 男子
 100m 安齋由一郎
 準決勝敗退
 女子
 走高跳 長峰 礼 記録なし
 ▼第74回福島県総合体育大会兼第
 76回福島県選手権大会県北地
 区予選会
 ※入賞3位以内のみ
 男子
 200m 安齋由一郎 第1位
 1500m 鈴木 諒 第2位
 5000m 遠藤滉己 第2位
 武田隼斗 第3位
 400m H 野田大暉 第3位
 4×100m R 第2位
 萩原滉陽・安齋由一郎
 野田大暉・小林直人
 4×400m R 第2位
 萩原滉陽・安齋由一郎
 野田大暉・菅野晃大
 女子
 4×400m R 第1位
 菅野朱里・石橋 悠
 森 愛歩・川村明日香
 ▼第74回福島県総合体育大会兼第
 76回福島県選手権大会
 男子
 800m 鈴木 諒 第6位
 女子
 走高跳 長峰 礼 第8位
 ▼第61回福島県高等学校新人陸
 上大会県北地区予選会
 ※入賞3位以内のみ

男子
 100m 安齋由一郎 第1位
 200m 安齋由一郎 第1位
 1500m 武田隼斗 第2位
 5000m 武田隼斗 第2位
 400m H 野田大暉 第3位
 4×100m R 第3位
 萩原滉陽・安齋由一郎
 野田大暉・小林直人
 女子
 400m H 石橋 悠 第2位
 4×100m R 第3位
 菅野朱里・石橋 悠
 長峰 礼・永倉真林
 ▼第61回福島県高等学校新人陸
 上大会
 男子
 100m 安齋由一郎 第2位
 200m 安齋由一郎 第4位
 1500m 武田隼斗 第8位
 女子
 走高跳 長峰 礼 第4位
 ▼令和3年度県北高等学校駅伝
 競走大会
 男子 第1位
 遠藤滉己・鈴木 諒・武田
 隼斗・奥野陽太・阿部寛希・
 齋藤佑成・橋本友真
 ▼令和3年度福島県高等学校駅
 伝競走大会
 男子 第10位
 遠藤滉己・鈴木 諒・武田
 隼斗・奥野陽太・橋本友真・
 齋藤佑成・菅野晃大
 ▼バスケットボール部
 福島県高校バスケットボール
 選手権大会県北地区予選

男子
 予選トーナメント
 福島東94―35二本松工業
 福島東55―82福島
 県大会出場決定トーナメント
 福島東79―55安達
 福島東86―53福島成蹊
 県大会出場
 女子
 予選トーナメント
 福島東36―61福島南
 県大会出場決定トーナメント
 福島東61―70安達
 ▼令和3年度第67回福島県高等学校
 体育大会バスケットボール競技
 男子
 1回戦 福島東60―62尚志
 ▼2021 前期U18バスケット
 ボールリーグ戦
 男子
 福島東43―78福島商業
 福島東75―61小高産業技術
 福島東78―53福島北
 福島東67―55福島成蹊A
 女子
 福島東81―39福島北
 福島東50―52安達東・本宮
 福島東45―56小高産業技術
 ▼第58回福島県高等学校バス
 ケットボール選手権大会
 男子
 1回戦 福島東103―68会津工業
 2回戦 福島東70―79
 東日本国際大学付属昌平
 ▼2021 後期U18バスケット
 ボールリーグ戦
 男子

福島東53―55福島東稜
 福島東57―63福島成蹊A
 福島東61―59相馬
 福島東73―68福島工業
 女子

▼令和3年度福島県高等学校新
 人体育大会バスケットボール
 競技県北地区予選

1回戦 福島東131―34安達
 2回戦 福島東79―70福島商業
 決勝リーグ

福島東34―93福島南
 福島東95―50福島成蹊
 福島東70―66福島工業

3位 県大会出場
 女子
 1回戦 福島東31―88福島・聖母
 県大会出場トーナメント

福島東69―52本宮・安達東
 福島東46―47福島南
 福島東59―49安達

▼令和3年度福島県高等学校新人
 体育大会バスケットボール競技

1回戦 福島東89―66原町
 2回戦 福島東85―49清陵情報

準々決勝 福島東70―82開志A&D

ベスト8
 女子
 1回戦 福島東51―83 学法石川
バレーボール部

▼第67回福島県高等学校体育大
 会バレーボール競技 県北地
 区大会

男子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東2―0明成

福島東2―1福島
 ※ブロック1位通過
 上位ブロックリーグ戦

福島東1―2福商
 福島東0―2県工
 ※県北第3位 県大会出場

女子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東2―0聖母

福島東2―0本宮
 福島東2―0東稜
 ※ブロック1位通過
 上位ブロックリーグ戦

▼第67回福島県高等学校体育大
 会バレーボール競技 県大会

男子
 福島東2―0川口
 福島東0―2郡北

※県ベスト16
 女子
 福島東2―0安積黎明
 福島東0―2郡女大附

▼第74回福島県総合体育大会バ
 レーボール競技 少年の部
 県北地区大会

男子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東2―0福北

福島東2―0聖光
 福島東2―1保原
 福島東0―2県工
 ※ブロック2位通過
 1―4位決定リーグ

福島東1―2福商
 福島東2―1福西
 ※県北第3位 県大会出場

女子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東2―1福西

福島東2―1明成
 福島東2―1福南
 1―4位決定トーナメント
 福島東0―2橘
 福島東2―1福西
 ※県北第3位 県大会出場

▼第74回福島県総合体育大会バ
 レーボール競技 少年の部
 県大会

男子
 福島東2―0相農
 福島東0―2郡北
 ※県ベスト16
 女子
 福島東1―2南会津

▼令和3年度県北地区高等学校
 バレーボール秋季選手権大会

男子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東2―0保原

福島東2―0学福
 福島東2―0福高
 ※ブロック1位通過
 1―3位決定リーグ

福島東0―2県工
 福島東0―2福商
 ※県北第3位

▼第65回福島県高等学校バレー
 ボール新人選手権大会 県北
 地区大会

男子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東2―0保原

福島東2―0福北
 福島東2―1福西
 ※ブロック1位通過
 上位ブロックリーグ戦

福島東2―0福高
 福島東2―0聖光
 福島東0―2県工
 福島東0―2福商
 ※県北第3位

女子
 予選ブロックリーグ戦
 福島東0―2聖光

福島東2―0保原
 ※ブロック2位通過
 上位ブロックリーグ戦
 福島東2―0福島

▼第65回福島県高等学校バレー
 ボール新人選手権大会 県大会

男子
 福島東2―1日大東北

福島東2―0郡山北
 福島東1―2白河
 ※県ベスト8
 ▼令和3年度福島県高等学校新
 人体育大会バレーボール競技

女子
 福島東2―0白河
 福島東0―2相馬東
 ※県ベスト16

テニス部
 ▼福島県高等学校体育大会県北
 地区大会 (5/8) 福島
 市庭球場

男子
 団体 第3位
 シングルス 第5位 大出和樹

女子
 シングルス 第5位 白坂琉音
 ダブルス 第5位

▼第67回福島県高等学校体育大
 会県大会 (6/4) 郡山
 市庭球場

男子
 団体 白坂琉音・小野 葵
 1回戦 2―1福島高専

2回戦 0―2安積
 シングルス 大出
 1回戦 6―2安積

2回戦 0―6磐城
 女子
 シングルス 白坂

1 回戦 1―6 郡女大附
ダブルス
白坂・小野

1 回戦 不戦勝

2 回戦 1―6 日大東北
▼第74回福島県総合体育大会県
北地区大会(6/12~14) 福
島市庭球場

男子

I部シングルス

齋藤大空・八島悠人・富樫
広翔・暮田勇翔・梅津信太・
加藤龍輝
(県大会出場)

I部ダブルス

齋藤・暮田(3位)、
八島・佐賀、加藤・太田、
富樫・梅津、島山・北島
(県大会出場)

II部シングルス

山本晃希(3位)
佐藤功大(3位)

II部ダブルス

山本・佐藤(1位)

▼第74回福島県総合体育大会
(7/3~4)
会津総合運動公園

男子

II部ダブルス

山本・佐藤(準優勝)

II部シングルス

山本晃希(ベスト8)

▼第74回県北地区ジュニアシン
グルステニス選手権大会(7
/31~8/1) 福島市庭球場

男子
シングルス

山本晃希(7位)
八島悠人(10位)

齋藤大空(11位)

幕田勇翔(13位)

▼第55回福島県高等学校新人体
育大会県北地区予選
(9/4~6) 福島市庭球場

男子 団体7人制(3位)

▼第55回福島県高等学校新人体
育大会(10/7~10) あづま
総合運動公園

男子

団体7人制

予選トーナメントCブロック
(2位)

▼第26回県北秋季ジュニアテニ
ス選手権大会(11/27~28)
福島市庭球場

男子
ダブルス

山本・佐藤(7位)

齋藤・暮田(8位)

加藤・梅津(10位)

八島・佐賀(13位)

太田・澁谷(16位)

シングルス

幕田勇翔(10位)

八島悠人(11位)

齋藤大空(12位)

ハンドボール部

県春季選手権

1 回戦 福島東33―22郡山東

2 回戦 福島東15―21帝京安積

I日地区

福島東32―15本宮

福島東20―17聖光

以降不戦敗 第3位

▼I日県大会ハンドボール競技
1 回戦 福島東27―18日大東北
2 回戦 福島東17―22帝京安積
2 回戦敗退

予選リーグ

▼県総体県北地区予選
予選リーグ

福島東28―27福島北

福島東15―29聖光学院

決勝トーナメント

福島東20―27福島

▼福島県総合体育大会ハンド
ボール競技

福島東11―33学法石川

▼福島県高等学校新人体育大会
地区大会ハンドボール競技

予選リーグ

福島東35―19福島

福島東40―22聖光

福島東35―30本宮川俣北

決勝トーナメント

福島東20―24福島西

3位決定戦

福島東28―22福島

※地区第3位

▼福島県高等学校新人体育大会
ハンドボール競技

男子2回戦

福島東19―23いわき総合

ソフトボール部

男子 人数不足のため本校単独
では出場できず、安積黎明高校
との合同で出場

女子 人数不足のため本校単独
では出場できず、福島北・福島
南・橘と4校合同で出場

▼第70回福島県高等学校女子春
季選抜ソフトボール大会 県

北・相双地区大会
女子

第4位(県大会出場)

予選リーグ第1戦

8―9 福島成蹊

(4月17日・伊達市月舘運
動場)

同 第2戦

4―6 福島西

(4月17日・伊達市月舘運
動場)

順位決定戦

8―1 福島明成

(4月18日・伊達市月舘運
動場)

令和3年度福島県高等学校体
育大会 ソフトボール競技

県北地区大会

女子

第5位(県大会出場)

予選リーグ第1戦

6―8 相馬東

(5月15日・十六沼運動公
園)

同 第2戦

1―13 福島成蹊

(5月15日・十六沼運動公
園)

順位決定戦

11―4 福島明成

(5月16日・伊達市月舘運
動場)

▼第67回福島県高等学校体育大
会 ソフトボール競技

男子

準決勝 9―3 須賀川

(6月6日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

第2戦 0―16 郡山北工

(6月7日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

女子

第1戦 3―2 郡山東

(6月5日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

第2戦 0―7 白河旭

(6月5日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

▼第74回県総合体育大会ソフト
ボール競技 県北・相双地区大会

女子

第1戦 0―15 福島東稜

(6月20日・月舘運動場)

第2戦 8―10 福島明成

(6月21日・月舘運動場)

▼第74回福島県総合体育大会ソ
フトボール競技

男子

準決勝 1―0 須賀川

(7月10日・相馬光陽ソフト
ボール場)

決勝 1―9 郡山北工

(7月11日・相馬光陽ソフト
ボール場)

▼第70回福島県高等学校新人体
育大会ソフトボール競技 県
北地区大会

女子

第1戦 0―19 福島東稜

(9月11日・月舘運動場)

第2戦 12―9 福島成蹊

(9月11日・月舘運動場)

▼令和3年度第40回福島県高等学
校新人体育大会ソフトボール競技

男子

準決勝 9―3 須賀川

(6月6日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

第2戦 0―16 郡山北工

(6月7日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

女子

第1戦 3―2 郡山東

(6月5日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

第2戦 0―7 白河旭

(6月5日・ふるさとの森ソ
フトボール場)

▼第74回県総合体育大会ソフト
ボール競技 県北・相双地区大会

女子

第1戦 0―15 福島東稜

(6月20日・月舘運動場)

第2戦 8―10 福島明成

(6月21日・月舘運動場)

▼第74回福島県総合体育大会ソ
フトボール競技

男子

準決勝 1―0 須賀川

(7月10日・相馬光陽ソフト
ボール場)

決勝 1―9 郡山北工

(7月11日・相馬光陽ソフト
ボール場)

▼第70回福島県高等学校新人体
育大会ソフトボール競技 県
北地区大会

女子

第1戦 0―19 福島東稜

(9月11日・月舘運動場)

第2戦 12―9 福島成蹊

(9月11日・月舘運動場)

男子
1回戦 0-21須賀川
(10月10日・十六沼運動公園)
決勝 3-19郡山北工
(10月10日・十六沼運動公園)
県大会第3位

女子
第1戦 1-10磐城農業
(10月9日・十六沼運動公園)

バドミントン部

▼福島県高等学校体育大会県北地区大会
学校対抗
男子・女子 県大会出場

女子
個人シングルス
野地梨花 第4位
(県大会出場)

菅野帆奏 ベスト16
(県大会出場)

個人ダブルス
菅野・野地 優勝
(県大会出場)

▼福島県高等学校体育大会
女子
個人ダブルス
菅野・野地 ベスト32

▼福島県総合体育大会県北地区大会
男子
個人シングルス
高橋伊吹 県大会出場権獲得

個人ダブルス
神野・斎藤 県大会出場権獲得

女子

個人シングルス
野地梨花 第2位
(県大会出場)

個人ダブルス
新妻・野地 県大会出場権獲得

▼福島県総合体育大会
女子
個人シングルス
野地梨花 ベスト32

▼福島県高等学校新人体育大会
県北地区予選
学校対抗戦 女子 県大会出場

男子
個人ダブルス
神野・斎藤 県大会出場権獲得

女子
個人シングルス
野地梨花 第2位
(県大会出場)

個人ダブルス
高橋・野地 第3位
(県大会出場)

▼福島県高等学校新人体育大会
女子
個人シングルス
野地梨花 ベスト16

柔道部

▼福島県高等学校総合体育大会
県北予選
男子
団体戦 第1位

個人戦
60 kg級 第1位 月館龍之介
66 kg級 第2位 佐久間颯大
73 kg級 第1位 小手森建斗

第2位 鈴木健太
第3位 堀越天馬
81 kg級 第2位 鈴木正敏
90 kg級 第3位 山口寛人

女子
個人戦
52 kg級 第1位 市川菜々美

▼福島県高等学校総合体育大会
男子
団体戦 ベスト8
個人戦
60 kg級 第2位 月館龍之介
(東北大会は中止)
66 kg級 ベスト8 佐久間颯大
73 kg級 ベスト8 小手森建斗

2回戦敗退 鈴木健太
1回戦敗退 堀越天馬

81 kg級 2回戦敗退 鈴木正敏
90 kg級 2回戦敗退 鈴木正敏

女子
個人戦
52 kg級 2回戦敗退 市川菜々美

▼全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 福島県予選
男子
個人戦
60 kg級 1回戦敗退 月館龍之介
73 kg級 1回戦敗退 小手森建斗

▼福島県総合体育大会
少年男子
先鋒(60 kg級) 第1位 月館龍之介

次鋒(73 kg級)
第1位 小手森建斗
第3位 堀越天馬
中堅(90 kg級)
第1位 鈴木正敏

女子
先鋒(52 kg級)
第1位 市川菜々美

▼福島県総合体育大会
少年男子
先鋒(60 kg級) 第2位 月館龍之介
次鋒(73 kg級) ベスト8 小手森建斗
ベスト16 堀越天馬
中堅(90 kg級) 2回戦敗退 鈴木正敏
佐藤大翔

女子
先鋒(52 kg級) 2回戦敗退 市川菜々美

▼福島県高等学校新人体育大会
県北予選
男子
団体戦 第1位
(2年連続3回目)

個人戦
60 kg級 第1位 月館龍之介
73 kg級 第1位 小手森建斗
81 kg級 第2位 鈴木正敏
90 kg級 第3位 佐藤大翔

▼福島県高等学校新人体育大会
男子
団体戦 ベスト8

個人戦
60 kg級 第2位 月館龍之介
73 kg級 第3位 小手森建斗
81 kg級 2回戦敗退 鈴木正敏
90 kg級 2回戦敗退 佐藤大翔

女子
個人戦
52 kg級 1回戦敗退 市川菜々美

▼全国高等学校柔道選手権大会
福島県大会
男子
団体戦 ベスト8
個人戦
60 kg級 第2位 月館龍之介
(東北大会出場)
73 kg級 第3位 小手森建斗
(東北大会出場)

▼全国高等学校柔道選手権大会
東北地区大会
男子
個人戦
60 kg級 1回戦敗退 月館龍之介
73 kg級 2回戦敗退 小手森建斗

剣道部

▼第67回福島県高等学校体育大会
会県北予選 5月15日(土)、16日(日) 於 福島西高等学校
男子
団体 優勝 (県大会出場)
個人 第2位 渡邊 旭

ベスト8 相馬柗太
ベスト16 檜森 絢
西館拓摩
(以上県大会出場)

女子
団体 第5位(県大会出場)

▼第67回福島県高等学校体育大会
6月4日(金)～7日(月) 於 郡山総合体育館

男子
団体 第3位

個人
ベスト8・敢闘賞 渡邊 旭

女子
団体 1回戦敗退

▼令和3年度福島県総合体育大会
県北予選 6月19日(土)、20日(日) 於 橋高等学校

男子
団体 県シードのため地区予選免除

個人
優勝 西館拓摩
(県総体出場)

女子
団体 第4位

個人
ベスト8 鴨田結衣

▼令和3年度福島県総合体育大会
7月3日(土)、4日(日) 於 あづま総合体育館

男子
団体 ベスト8

個人
ベスト16 西館拓摩

▼令和3年度福島県高等学校新
人体育大会県北地区予選 9

月25日(土)、26日(日)
於 福島東高等学校

男子
団体 準優勝

女子
団体 第3位

個人
第3位 鴨田結衣

▼令和3年度福島県高等学校新
人体育大会 10月29日(金)
～31日(日) 於 あいづ総合
体育館

男子
団体 2回戦敗退

女子
団体 1回戦敗退

個人
ベスト8(優秀選手) 鴨田結衣

▼令和3年度県北高等学校剣道
選手権 12月11日(土)
於 福島商業高等学校

男子
団体 7位(県大会出場)

女子
団体 混成チームとして出場
(大会記録なし)

弓道部

▼第67回福島県高等学校体育大
会県北地区大会 弓道競技
(5月15日～16日 福島明成
高校弓道場)

男子団体 第3位
鈴木幹士、神田稜士、本田
晃佑、佐久間麻皓、林琉斗、
佐久間尊、大内朝陽

男子個人

第1位 鈴木幹士
女子団体 第4位
松山あかり、福田咲、鈴木
梨那、安達桃夏、若松紗也、
佐藤若奈、渋谷明日美

▼第67回福島県高等学校体育大
会 弓道競技(6月5日～7
日 福島明成高校弓道場)

男子個人
第4位入賞 鈴木幹士

▼第74回福島県総合体育大会弓
道競技(少年の部)(6月12日
～13日 福島明成高校弓道場)

男子団体 第3位 福島東B
(田中康太郎、下重英人、
大内朝陽)

▼令和3年度 福島県高等学校
新人体育大会 弓道競技(10
月16日～17日 開成山弓道場)

男子団体 ベスト8
田中康太郎、下重英人、大
江泰樹、吉野耕章、大内朝
陽、吉田智大、渡邊郁斗

山岳部

▼令和3年度 第34回県北地区
高等学校 登山大会(吾妻山
系 一切経山・家形山)
出場 令和3年5月7日(金)

▼第67回福島県高等学校登山大
会(那須連峰 赤面山、甲子山)
出場 令和3年5月27日(木)
～5月29日(土)

▼令和3年度 第29回県北地区
高等学校新人登山大会 安達
太良山(塩沢スキー場・あだ
たら高原スキー場)
出場 令和3年9月3日(金)

▼令和3年度 第57回 福島県
高等学校新人登山大会 浅草
岳 只見町民体育館
出場 令和3年9月23日(木)
～9月25日(土)

水泳部

▼第67回福島県高等学校体育大会県
北地区大会水泳競技(福島南高校)

男子
100m背泳ぎ 7位 木村至善
200m背泳ぎ 8位 小野慈稀
100m平泳ぎ 6位 木村至善
50m自由形 3位 角田拓人

100m自由形 4位 角田拓人
12位 星野隼人
10位 米谷玲惟
16位 渡辺拓翔
100mバタフライ 5位 古宇田省吾
10位 米谷玲惟
12位 渡辺拓翔
400mリレー 5位 角田・星野・渡辺・米谷

400mメドレーリレー 6位 木村・木戸・古宇田・小野

女子
50m自由形 4位 遠藤あゆみ
12位 渡邊そよか
100m自由形 4位 小野琴葉
8位 遠藤あゆみ
200m自由形 2位 小野琴葉

▼第67回福島県高等学校体育大
会水泳競技(会津水泳場)

男子
100m自由形 5位 角田拓人

▼第74回福島県総合体育大会水
泳競技(いわき市民プール)

男子
100m背泳ぎ 18位 木村至善
23位 小野慈稀
100m平泳ぎ 37位 星野隼人
6位 角田拓人
50m自由形 65位 星野隼人
100m自由形 10位 角田拓人
65位 星野隼人
100mバタフライ 31位 古宇田省吾

女子
50m自由形 13位 遠藤あゆみ
21位 遠藤あゆみ
23位 小野琴葉
200m自由形 16位 小野琴葉

▼第56回福島県高等学校新人体
育大会水泳競技大会(郡
山しんきん開成山プール)

男子
100m背泳ぎ 18位 小野慈稀
21位 星野隼人
33位 木戸涼雅
50m自由形 4位 角田拓人

▼東北大会出場権獲得

100mバタフライ 10位 古宇田省吾
400mリレー 13位 角田・星野・古宇田・小野

東北大会出場権獲得

女子
200m自由形 8位 小野琴葉
東北大会出場権獲得

▼第76回東北水泳大会(秋田県
立総合プール)

男子
100m自由形 27位 角田拓人

女子
200m自由形 32位 小野琴葉

▼第74回福島県総合体育大会水
泳競技(いわき市民プール)

男子
100m背泳ぎ 18位 木村至善
23位 小野慈稀
100m平泳ぎ 37位 星野隼人
6位 角田拓人
50m自由形 65位 星野隼人
100m自由形 10位 角田拓人
65位 星野隼人
100mバタフライ 31位 古宇田省吾

女子
50m自由形 13位 遠藤あゆみ
21位 遠藤あゆみ
23位 小野琴葉
200m自由形 16位 小野琴葉

▼第56回福島県高等学校新人体
育大会水泳競技大会(郡
山しんきん開成山プール)

男子
100m背泳ぎ 18位 小野慈稀
21位 星野隼人
33位 木戸涼雅
50m自由形 4位 角田拓人

▼東北大会出場権獲得

100mバタフライ 10位 古宇田省吾
400mリレー 13位 角田・星野・古宇田・小野

東北大会出場権獲得

東北大会出場権獲得

東北大会出場権獲得

東北大会出場権獲得

東北大会出場権獲得

東北大会出場権獲得

●文化 部

40mメドレーリレー 10位
角田・星野・古宇田・小野
▼第76回東北水泳大会(秋田県立総合プール)
男子
50m自由形 12位 角田拓人

吹奏 楽部

▼令和3年度特別演奏会 5月4日
▼第40回福島県高等学校総合文化祭(音楽部門)第71回福島県高等学校音楽学習発表会 6月24日
▼第39回福島県吹奏楽コンクール 県北支部大会 7月10日 金賞(代表)
▼第59回福島県吹奏楽コンクール 8月7日 銀賞

▼第49回福島県アンサンブルコンテスト 県北支部大会 12月12日
木管三重奏 金賞(代表)
木管五重奏 銀賞
打楽器四重奏 銀賞
トロンボーン三重奏 銀賞

▼第49回福島県アンサンブルコンテスト 1月16日
木管三重奏 金賞

合 唱 部

▼第40回福島県高等学校総合文化祭(音楽部門)第71回福島県高等学校音楽学習発表会 6月25日
▼第75回福島県合唱コンクール

▼第49回福島県アンサンブルコンテスト 1月16日
木管三重奏 金賞

8月28日 銅賞
▼第19回定期演奏会(非公開) 8月12日
▼福島県芸術文化団体連合会50周年記念行事
合唱連盟の代表として、福島高校、橘高校、福島東高校、安達高校、福島成蹊高校の合唱団で演奏
▼第38回福島県声楽アンサンブルコンテスト 12月12日 銀賞

演 劇 部

▼県北地区高等学校演劇連盟発表会 出場
[Re:Take](作:六戸結実)
▼県北地区高等学校演劇連盟コンクール 出場
[Irritation](作:森山春生)
個人演技賞 森山春生

ダンス 部

▼第14回日本高校ダンス部選手権 新人戦 東日本大会 スモールクラス 4月2日(金) 千葉県 千葉ポーターアリーナ 優秀賞(ベスト8)
伊藤聖菜 後藤穂乃花
鈴木ひなた 鈴木丈一郎
八卷文香 渡邊望々

▼第15回ダンス部発表会 7月29日(木)・30日(金) 福島テルサ
▼第14回日本高校ダンス部選手権 バトルーナメント 東日本大会 12月27日(月) 東京都 練馬文化センター
2回戦進出 FED

美 術 部

▼第75回福島県総合美術展覧会 佳作・県文化スポーツ局長賞
阿部 蓮
入選
今野美咲
大島 葵
入選
長尾実穂
入選
福田美羽

▼第45回全国高等学校総合文化祭(和歌山大会)
阿部 蓮
長尾実穂
▼福島県地域安全・暴力追放運動ポスターコンクール
高校生・一般の部
最優秀賞
菅野 空
▼福島県歯科衛生ポスターコンクール
優秀
安倍實佳子

▼第55回福島市民美術展覧会 青少年奨励賞
今野美咲
▼第88回福島県美術協会展 特選
安倍實佳子
佳作

寺島 慧
高校生優賞
長南遥人、阿部 蓮、長尾実穂、菅野 空、菊田美沙
希
入選
大島 葵、福田美羽、齊藤翔
▼第18回ふくしま森林・林業写真コンクール
特別賞・高校生以下の部
県森林・林業・緑化・協会会長賞
[真剣な眼差し]
2年1組 鈴木友梨
▼令和3年度 福島県高等学校文化連盟写真専門部 県北地区写真展
優秀賞
[噴水]
1年4組 佐藤蒼依
佳作
2年1組 小針光希

写 真 部

▼令和3年度「科学の甲子園」福島県大会 第6位

▼(総合競技部門 第3位)
▼第66回福島県たなばた展 個人賞
たなばた大賞
銀河賞 3年 遠藤瑠夏
2年 石黒智尋

▼第45回全国高等学校総合文化祭(わかやま総文2021) 書道部門 出場
3年 遠藤 瑠夏
▼第50回全国高校書道展(四国大学主催)
第50回記念賞(最高賞)
2年 渡邊美南海
特選
3年 遠藤瑠夏
3年 志賀大二郎
2年 石黒智尋
▼第20回全国書道展(岐阜女子大学主催)
大学賞 3年 遠藤瑠夏
2年 渡邊美南海
秀作賞 2年 石黒智尋
優秀賞 3年 志賀大二郎
▼第45回福島県書道連盟展 個人賞
準大賞 3年 遠藤瑠夏
2年 渡邊美南海
奨励賞 2年 石黒智尋
特選 3年 志賀大二郎
団体賞 団体特別賞
▼第55回福島市民美術展覧会 青少年奨励賞
2年 渡邊美南海
▼第40回福島県高等学校総合文化祭書道展
大賞 2年 渡邊 美南海
第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022) 出場権獲得
▼第55回福島県高等学校書道展 【半紙の部】

▼令和3年度「科学の甲子園」福島県大会 第6位

▼第45回全国高等学校総合文化祭(わかやま総文2021) 書道部門 出場
3年 遠藤 瑠夏
▼第50回全国高校書道展(四国大学主催)
第50回記念賞(最高賞)
2年 渡邊美南海
特選
3年 遠藤瑠夏
3年 志賀大二郎
2年 石黒智尋
▼第20回全国書道展(岐阜女子大学主催)
大学賞 3年 遠藤瑠夏
2年 渡邊美南海
秀作賞 2年 石黒智尋
優秀賞 3年 志賀大二郎
▼第45回福島県書道連盟展 個人賞
準大賞 3年 遠藤瑠夏
2年 渡邊美南海
奨励賞 2年 石黒智尋
特選 3年 志賀大二郎
団体賞 団体特別賞
▼第55回福島市民美術展覧会 青少年奨励賞
2年 渡邊美南海
▼第40回福島県高等学校総合文化祭書道展
大賞 2年 渡邊 美南海
第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022) 出場権獲得
▼第55回福島県高等学校書道展 【半紙の部】

準大賞 1年 鳴原莉子
 奨励賞 2年 渡邊美南海
 2年 石黒智尋
 1年 吉田万由子
 1年 小林寿実
 1年 近内春香

【条幅の部】

準大賞 2年 石黒智尋
 奨励賞 2年 渡邊美南海
 1年 鳴原莉子
 1年 近内春香
 1年 小林寿実

▼第66回福島県書きぞめ展
 個人賞

書きぞめ準大賞
 2年 渡邊美南海
 1年 鳴原莉子
 書きぞめ賞
 2年 石黒智尋

放送委員会

▼第39回福島県高等学校総合文化祭
 第68回NHK杯全国高校放送
 コンテスト福島県大会
 アナウンス部門決勝進出
 佐藤磨優

国語科

▼第41回全国高等学校読書体験
 記コンクール福島県選考会
 最優秀賞
 1年5組 鳴原莉子
 「時の流れに親しむ」
 (全国コンクール優良賞)

優秀賞
 1年5組 吉川咲樹
 「白血病とサラバ」
 (全国コンクール入選)

令和三年度

部活動を通して学んだこと
 教えられたこと

生徒会

生徒会を通し学び、教えられたことは二つあります。

一つ目は、計画を立てることの大切さです。私は未だ公約の一つも果たせていません。いつまでにどのようなことをするのか、誰に協力してもらいたいか、何をしたらスムーズに進められるのか。目標をブレさせずに達成するためには逆算して物事を進めさせないと、簡単には上手くいかないことを、生徒会に入り実感しています。これは勉強においても同じことだなあということ学びました(笑)

二つ目は、約束を守ることで。期限や言われたことを実行するなど当たり前なことです。私は苦手です。しかし、生徒会長になったからには信頼される人になりたいと思い、五分前行動や回りを見て行動することがとても大切だと思っています。やはり、学校生活においても提出期限を守ることは大切だと痛感しました。(笑)

野球部

私たち野球部が常に意識している事は「準備と確認」です。

これは監督である渡邊一広先生から毎日のように言われている言葉です。野球は他のスポーツに比べて、一球一球の間が多いスポーツです。間があるからこそ「準備と確認」を怠ると試合の流れが変わってしまい、勝ちに繋がらなくなってしまうます。私たちは渡邊先生から大事な事を端的にわかりやすく教わっています。守備の面では準備と確認をしつかりすること、

打撃の面ではタイミングを上手に取ることで、試合中や練習中は大人に頼らず自分たちで考えること。これらの全ては私たちの目標である「甲子園出場」を実現させるためには欠かせない事です。このような熱い指導をしてくださる先生方、外部コーチの方に感謝の気持ちを持ち、野球ができるのは当たり前ではない事を理解して活動していきたいと思います。

サッカー部

私は部活動を通して、準備することの大切さを学びました。

昨年は、大きな大会、公式戦などで勝ちきれない試合が続きました。それらの試合で、自分たちの「準備不足」に気づかされました。そしてその準備は、サッカーをするときだけでは意味がない、ということにも気づかされました。普段の授業、生活態度、言葉遣いなど日常を変えなければ、プレーも変わっていかない。そのため、今部員全員で、日常を変える努力をしています。

年度が変わると、リーグ戦が開幕し、その後はインターハイ、選手権など大会が次々とやってきます。部員全員が、学校生活、部活動で高い意識を持って行動し、強い集団を作っていくべきです。どのチームよりも良い「準備」をして、県大会優勝という目標を成し遂げます。

卓球部

私は部活動を通して、集中する事の大切さや目標を持って練習に取り組む事を学びました。今年もコロナウイルスの影響

陸上競技部

私は陸上競技部での活動を通して、仲間の大切さについて学びました。

私が初めて東高校の陸上競技部で活動をした時に、先輩方の部活動に対する取り組みの姿勢にとっても感心しました。練習中でも辛い練習に全力で取り組み、追い込んでいく姿を見てと

で、大会がなくなってしまう事もありました。それでも、夏の暑い日も冬の寒い日も懸命に練習してきました。しかし、思うような結果を出すことが出来なかつたです。その理由には、試合の時のような緊張感や集中力が練習では欠けていたなと感じます。元野球選手のイチローさんの言葉で、「練習は本番のように、本番は練習のように」という言葉があります。私達も、この心がけを大切にしたいです。もう一つの理由には、目標が明確化されていなかったからです。それは試合の結果ではなく、練習においてです。練習はしているのに、うまくならない事がありました。そこで、何のためにこの練習をやっているのかを理解し、意識して練習する事を学びました。(伊藤尚輝)

(新妻千咲季)

(梅津怜乃介)

(加藤統大)

でも尊敬していました。私は初めての大合から有難いことにリレーメンバーに選ばれ先輩達と一緒に走る機会が多くありました。その時、初めて県大会の決勝に残って東北大会に進出できた時、先輩方と流した涙は一生忘れません。昔の私からすると陸上競技で涙を流すことなど考えられませんでした。それ程、私にとって先輩達の存在は大きなものでした。また、同学年の仲間にも恵まれ、支えられてきたことは多くあります。これから先も、仲間を大切にしていきたいです。
(安齋由一郎)

バスケットボール部

私たちバスケットボール部は日々の練習を大切にしながら真剣に取り組んできました。そんな中で私たちは二つの事を学んでいます。

一つ目は、「当たり前のことを当たり前にする」ということです。学校生活やそれ以外の場面でも、当たり前のことや、やるべきことをやっていないとうまくいきません。顧問の岩倉先生にも「当たり前」の大切さを教えていただきました。
二つ目は、「声を出す」ということです。バスケットボールは

団体競技なので仲間の声掛け一つで試合が大きく変わります。そのため普段から声を掛け合い、互いを高め合うことが大切だと実感できました。

私たちは、これらの経験を日常生活や部活動にいかし、チームの目標である県大会優勝をし、そしてそれ以上を目指して取り組んで人間としても成長できるとしていききたいと思えます。
(鈴木大輝)

バレーボール部

女子バレーボール部は常に向上心をもって部活動に臨んでいます。練習では、チーム全員で目標を設定し、終わったら反省するようにしています。昨年のチームにはなかったものを創り上げたり、そしてチームを強くするために高い目標をもって取り組んでいます。しかし、自分達の目標はまだ達成できていません。必ず達成できるように、全員で助け合い、向上心をもって励んでいきたいと思えます。

男子バレーボール部は、日頃の練習を限られた短い時間で効率よく質の高い練習を行うことを意識して取り組んでいます。最初はなかなか思うような結果を出せませんでしたが、何度も

チームで話し合い、日常生活を見直し精神力を向上させたことでより一層バレーボールに真剣に取り組むことができています。支えて下さる方々への感謝の気持ち忘れず、目標に向けて努力していきたく思います。
(佐藤ゆい・徳永将也)

テニス部

私は部活動を通して、技術はもちろん、人としても成長できたと思います。

今年から梅宮先生が顧問になり、練習環境が大きく変わりました。基礎基本のものから徹底的に練習したり、弱点克服のために先生と一対一の練習をしたりしました。そのおかげで、大会ではチーム全体で結果を残せるようになり、努力が報われた喜びを仲間とわかち合うことができました。

また、中学生時代、私は部員として活動していましたが、部長になって改めて部長の大変さを学びました。迅速な情報伝達や指示が特に大変でしたが、とても良い経験となりました。部活動を通して、技術や人として成長できたことは厳しい社会に出た時に役に立つと思えます。テニス部で学んだことを胸

ハンドボール部

僕らのコーチである上野先生は毎日の練習で「何でお前らチームメイトなのにもっと言い合いたくないの、もっと言い争ってお互いの悪い所修正すればいいじゃん」と言葉をかけます。僕らはこの言葉を大切に日々の部活動に励んでおり、練習中も試合中も先輩後輩関係なく「もっとこうして」「なんでこうしないの」と自分の意見を出してプレーしています。

また上野先生は「お前のためにやるんじゃない、仲間のためにやるんだぞ」と仲間との協力を大切にする言葉を僕らにかけます。やはりハンドボールは団体競技なので一人がミスをする

と、皆が崩れてしまいます。だからこれからの練習や大会でも皆で協力して勝利をつかみたいと思えます。
(佐藤 柊)

ソフトボール部

私達は人数は非常に少ない中で他校と連合チームを組み、日々の練習に励んできました。共に練習できる機会が制限され

思うようにいかないことも多々ありましたが、連合チームでしか学べないことを沢山学ぶことができました。

一つ目は仲間の大切さです。去年まで当たり前にいた三年生が引退し、試合に出ることも危うくなった時に当たり前にいた仲間が当たり前でないことに気づき、仲間の大切さを再認識することができました。

二つ目は社会人になるにあたっての一般常識です。顧問である重川先生、伸也先生は僕達が社会に出て恥をかくことのないよう、常に、目上の人に対する態度等を時に厳しく教えてくださりました。そのお陰で目上の人に対する接し方などを身につける事ができました。

一度きりしかない高校の部活動をメリハリをつけて楽しみたいです。
(齋藤大真)

バドミントン部

私が部活動で学んだことは二つあります。

一つ目はコミュニケーションの大切さです。バドミントンは個人競技ですがダブルスではペアとの声かけがないと良いプレーはできません。また、ミスをした時などお互いに声をか

け合うことで良い雰囲気です。レールができません。

二つ目は諦めない気持ちです。バドミントンは最後まで何が起るかわからない競技です。最初は負けていても逆転して勝つことも十分にあり得ます。私は中学生の時、相手にリードされている時は諦めがちでしたが、今はコーチのご指導により例えこのような状況でも絶対に最後まで諦めないでやりきるという気持ちが生まりました。

これまでの部活動のおかげで私は成長することができたと思います。部活動で得た経験を生かしてこれからも活動していきたいです。
(荒木亜沙美)

柔道部

私が部活動を通して学んだ事は二つあります。

一つ目は、仲間の大切さです。私は部長として部活をまとめることができるのか不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、部員みんなが支えてくれたおかげで、私なりに全力を尽くすことができました。本当に感謝しています。

二つ目は、柔道家としての心構えです。私は柔道の場面ですか意識していませんでした。し

かし、日々の生活の中でも意識すること、先生や友人に対する接し方も変わり、人間性が良くなり、柔道家としての自覚も強くなりました。

これからも、仲間を大切に、柔道家としてみんなの手下となるような生活をしていきたいです。また、応援してくれた方々に感謝をし、日々の稽古に取り組んでいきたいと思っています。
(月館龍之介)

剣道部

私は、今日まで剣道部員としてたくさんの方々に支えられ、充実した時間を過ごすことができました。

私が剣道部員として過ごす中で一年次、二年次に見てきた部の姿はそれぞれ異なりますが、共通していることがあります。それは、部として一つの目標に向かって努力し続ける姿です。掲げた目標を達成することは素晴らしいことです。しかし、一番大切なのは目標に向けて仲間と共に努力する過程にあるということを学びました。嬉しい事、辛い事など様々な経験を共有したからこそ個人としても集団としても成長することができました。私が剣道部員として過ごせる

のは残りわずかとなってしまいました。最後の最後まで感謝の気持ち忘れず、これからの日々精進していきます。(圓谷 響)

弓道部

私がこれまでの部活動で学んだことは二つあります。

一つ目は、前に立って人をまとめることです。私は今まで、たくさんの人をまとめるということあまりしたことがありませんでした。そのため、先輩方から役員を引き継いでから部の霧囲気が緩くなってしまうと、自分が判断しなさいと言われた時にすぐに決められなかった場面がたくさんありました。そんな時には、仲間の意見を参考にしたりしました。

そこで学んだ二つ目が、仲間の大切さです。弓道には自分だけでは気づけない癖や考え方がたくさん存在します。仲間からの新たな視点で見ること、自分だけでなく、教えた側の実力の向上に繋がり、部全体の実力の向上にも繋がっていると思います。

私はこの経験を活かし、今後にも繋げていけるようにしたいと思います。(齋藤あかり)

山岳部

私たち山岳部は様々な山行を経験し、事前の準備の大切さや仲間の大切さを学ぶことができました。

昨年度に引き続き今年度もコロナウィルスの影響により、山行や普段の部活動でも活動を制限されてしまうことがありました。ですが、普段の活動から部員全員で協力し、山行の時に使用する装備のチェックや情報収集、天気図の作成、コンパスの練習など山に登る前に行う準備を怠らないよう努めました。その結果、山行を怪我なく楽しむことができました。また、苦しいときは、仲間と声をかけて励まし合いながら登ることができました。仲間の大切さを身にしみて感じました。

私は、この経験を日常生活に取り入れていきます。学習については、テストの前だけでなく普段の学習を心がけ、仲間と切磋琢磨していきます。
(佐藤倫己)

水泳部

私の在籍中、水泳部は多くの逆境に直面しました。学校のプールの使用不可、廃部の決定、

それに伴う新規部員の募集停止。しかしそのような苦しい状況の中でも私たちは笑ってききました。だからこそ、ここまで楽しく活動できたのです。私が部活を通して学んだこと、それはまさしく「笑顔の大切さ」でした。

これは先輩方から受け継がれたものだったのかもしれない。入部して最初の大会での移動中、緊張で身を固くしている私たちとは反対に、先輩方は普段と変わらず笑って会話をしていました。これが本番での余裕のある泳ぎの秘訣だったのだと思います。

東高校の伝統ある水泳部がなくなるのとても残念ですが、先輩方から受け継いだ笑顔を大切に有終の美を飾ることが出来るように尽力していきます。
(角田拓人)

ダンス部

私が部活動を通して学んだことは、日々の努力の大切さ、そして仲間の存在の大きさです。

ダンス部の主な活動は、大会出場、地域のイベントの出演、自主公演である発表会です。これらの振り付けや曲選びなどは、全て部員が主体となって活動しています。振り付けを作ることは

簡単なことではなく、日々の基礎練習や応用練習が肝心です。思うように上手く踊れなかったり、伸び悩むことが私自身もよくありましたが、これを乗り越えたことで、部員に教えることができて、いと痛感しました。そして、悩んだり、辛かったりする時に、刺激をくれるのが仲間でした。ダンス部の仲間は自分にはないものを持っていて、仲間と練習することによって、ヒントを得ることができました。

仲間と共に支え合い、努力してきた日々は、自分の人生にとって大切なものであると痛感しました。(鈴木丈一郎)

吹奏楽部

私は部活動を通して、仲間がいて合奏ができることの喜びに気が付かされました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響によりコンクールが中止になり、パート内でも距離をとって練習をしなければならず、少し寂しいと感じていました。しかし今年度は吹奏楽コンクールが開催され、部員一丸となり良い音楽を目指すことが出来ました。

今思うと、コロナ禍のあの経験があったからこそ私は同じ目

標を持つ仲間と良い音楽を目指して合奏できる喜びを強く感じるのだと思います。

私たちがこうして活動できてるのは、先生方やOB、OGの方のご支援があるからだと感じています。心より感謝申し上げます。引き続き、これからも福島東高校吹奏楽部をよろしくお願ひします。(岩倉美歩)

合唱部

私は部活動を通して、仲間との意思疎通の重要性、そして協力し合うことの大切さを学びました。部活動をしていくなかで互いに思っていること、伝えたいことが上手く伝わらずに違い、衝突することもありました。がしっかりと話し合うことで部の団結力を高めてきました。また、合唱は一人でできるものではなく、個人は技術を高めてながらも互いに足りない部分を補い、協力して支え合うことで理想の音楽をつくりあげることができると思います。

部活動を通してこれらを含め多くのことを学びました。今後辛いときや苦しいときも多くあると思いますが、部活動で学んだことを生かして乗り越えていこうと思います。(石田聖奈)

美術部

私は部活動を通して、継続して物事に取り組むことの大切さを学びました。

展覧会に出品する際は、F50号という大きなキャンバスに、構想から完成まで大体二か月から三か月かけて絵を描きます。私は毎回油絵を制作していますが、いつでもどこで行き詰まってしまう。趣味で描いている絵なら途中で描くのをやめたり最初から描き直したりできま

すが、展覧会の作品はそうはいきません。思うように描けなくなっても諦めず、先生からアドバイスをいただいたり友人たちと励まし合ったりしながら、毎日描き進めてきました。そうしてやっと完成した作品を見てみると、描き上げた達成感を感じたり、自分の課題に気付いたりして「次はもっと良い作品を描こう」と思います。

これからも諦めずに制作し続けていこうと思います。(阿部 蓮)

写真部

部活動を通して学んだことは、「集中力」の大切さです。

普段、写真部は個人で活動

することが多いです。最高の一枚を撮るには、その一瞬を逃さないように、被写体にピントを合わせ、息を殺して集中し、シャッターを切ります。少しでも集中が途切れると、被写体がぼやけてしまったり、自分が満足出来ない作品になってしまったりしてしまいます。

それに、「集中力」は写真を撮る以外で勉強やスポーツなど多くのことで役に立ちます。これから私たちは大学受験などの大きな壁と戦わなければなりません。今のうちから質の良い「集中力」を磨きあげられるように皆さんも日頃から写真を撮ってみてはいかがですか。もしかしたら、自分だけが気づけるものと触れ合えるかもしれません。そして、今という大切な一瞬をぜひ切り取ってみて下さい。(金子和未)

科学部

先日、部の所有物が詰まっているロッカーを整理していると奥から白い箱が。中には約三十年前の河川調査中の光景とおぼしきフィルム達が。当時の活気が伝わってくる様な写真でした。実は今年度は、新型コロナウイルスや諸事情により実施で

きていません。今年度の主だった活動として「科学の甲子園」の準備、東桜祭の発表展示を行いました。行事を通して部員、それぞれの個性や特技を互いにつかむことができました。過去の科学部の様子がどうであったかは私達の知るところではないですが、フィルムから察するに、互いの理解があり、信頼があったのだと。そのことが活動の活性化につながってきたのだと。(そして理解、信頼があると、部の活動がスムーズに進み易い)集団で活動する上での、理解、信頼の重要性を意識し、科学部の伝統を引き継いでいきたいと思えます。(平山大知)

演劇部

私が部活を通して学んだことは、逆境に立ち向かえる強い心の持ち方です。

私たち演劇部は人数が少なく、年を追うごとに新人部員が減っていつているのが現状です。春と秋に発表の機会があり、それらを目標に活動をするのですが、あまりの部員不足にその参加すら危ぶまれました。一度は諦めるといふことも考え

ましたが、先輩から受け継いだ伝統を守りたい気持ちと、顧問

の先生方の励ましで、もう一度頑張ろうと思えました。今ではあの時諦めなくてよかったと本当に思います。仲間たちの協力もあり、ベストな舞台にすることができました。その上個人演技賞もいただくことができ、とても嬉しかったです。諦めなければ頑張りはいつか報われる、そう思えた瞬間でした。逆境に立ち向かうには、今までの過去とこれからの結果を信じることに必要なのだと思います。

(森山春生)

書道部

私は、書道という芸術に出会えたことで、多くのことを感じ、学び、自分を見つめることができました。

一つの事に夢中になる時は楽しく、書道をしている時もそのように感じます。書道は自分と向き合う時間でもあります。自分が思うように書けない時もありますが、作品が完成した時の達成感はとても大きく、自信へとつなげることができました。書道を通して、何事にも本気で全力で取り組むことや、高い目標へ向かって努力を積み重ねることの大切さに気づかされ、毎日の練習を仲間と共に頑張っています。

います。

書道は、私のまだ知らない奥深いことがたくさんあります。作品を通して、少しずつ書道の新しい魅力について触れていきたいです。そして、見ている人を惹きつけるような作品制作を目指します。

(石黒智尋)

英語部

私が部活動を通して学んだことは、仲間づきあいです。

英語部は部員が少ない中で、日々の活動に取り組んできました。自分達が今まで知らなかった英単語や文法の知識を身に付けることを一つの目標として取り組んできました。そのために、仲間とボードゲームをしたり、映画視聴をして新しく学んだことを覚えたりしました。その活動の中で特に大事だと感じたことが、仲間と分からない部分を共有して理解を深めていくことでした。

ALTの先生は、お互いのことをよく知るコミュニケーションを中心とした活動をさせてください。それがあったからこそ、仲間づきあいが良くなり、共に成長できたと感じています。他にも自分で調べることがたくさんあることを学ぶことが

きました。部活で学んだことを将来活用していきたいと思えます。

(渡辺 圭)

放送委員会

放送委員会は委員五人全員が他の部活動と兼部をしています。それぞれの部活動と放送委員会の二足のわらじにみんな悩み、苦労していました。みんな支え合って乗り越えてくることができました。仲間と共に進む大切さ、支え合う大切さを学びました。

しかし、現在、放送委員会は、校内活動ができていません。そこで、校内放送の実施を目指しています。委員それぞれにしっかりと折り合いをつけ一つにまとめるか、その難しさを実感しました。福島の高校生として、十年前の経験についても考えてもらえらるような内容も編成することができればより良い東高になるのではないかと考えています。

(熊田優希)

応援委員会

私たち応援委員会はコロナ禍で大会が減り、今年の夏大会が一年ぶりの大きな活躍の場とな

りました。この大会や日々の練習から学んだことは、常に先を見ることと意思疎通の大切さです。試合に向けての曲練習が中心となる部活動ですが、大会前の楽器と応援団との合わせや試合中の選手曲の切り替えなど準備しておくことは沢山あります。その一つでも欠けると選手を支える応援にはなりません。また、試合中に曲名や出場選手が部員同士把握していなければま

た応援にはなりません。一丸となることで、選手達の士気を高めることができれば、それ以上に嬉しいことはありません。数少ない大会での反省点を次までに完璧にするという心持ちでやっている、あつという間に三年間が終わってしまうので、常に最高の応援を目指し、次の大会も選手活躍をスタンドから支えていきたいと思っております。

(土屋咲恵)

令和3年度 部長・委員長

部・委員会名	前期	後期	部・委員会名	前期	後期
野 球	佐藤 孔明	梅津怜乃介	男子バドミントン	菅野 帆奏	岩城 和磨
サッカー	鈴木 凌雅	加藤 統大	女子バドミントン	佐藤 真白	荒木亜沙美
卓 球	佐々木優河	伊藤 尚輝	弓 道	若松 紗也	齋藤あかり
陸上競技	添田 昂弥	安齋由一郎	合 唱	川又 夏実	石田 聖奈
男子バスケットボール	山田 健太	鈴木 大輝	吹 奏 楽	渡邊 亮太	岩倉 美歩
女子バスケットボール	尾形 知優	青田 咲絵	美 術	阿部 蓮	阿部 蓮
男子バレーボール	渡辺 順成	徳永 将也	科 学	佐藤 匠	小野田 宰
女子バレーボール	田中 陽菜	佐藤 ゆい	写 真	鈴木 善悟	佐久間裕貴
男子テニス	大出 和樹	幕田 勇翔	演 劇	森山 春生	森山 春生
女子テニス	白坂 琉音		書 道	石黒 智尋	石黒 智尋
柔 道	佐久間颯大	月舘龍之介	ダンス	安藤 吉哉	鈴木丈一郎
剣 道	檜森 絢	圓谷 響	英 語	遠藤あゆみ	渡辺 圭
ハンドボール	田村 礼士	佐藤 柊	応 援 団	阿部帆乃華	笹森 明音
水 泳	渡辺 拓翔	角田 拓人	ブラスバンド	嶋原亜柚音	土屋 咲恵
山 岳	中村 喜季	佐藤 倫己	放 送	穴戸 結実	熊田 優希
ソフトボール	草野 寛司	齋藤 大真	生 徒 会	寺澤 一花	新妻千咲季

福島東高校の卒業生から学び

福島民報創刊二三〇周年記念

齋 正機二〇二二

「福島今昔物語」を

開催します

齋 正機(二期生 斎藤正機)



今春の四月二日(土)より五月八日(日)まで、とうほう・みんなの文化センターにて二回目の展覧会が開催されます。

それに合わせて、福島民報月イチ連載エッセイ『福島鉄道物語』が一冊の本にまとめられることになりました。

その中の第十一話は、東高校の校歌を作詞した長田弘さんのことに触れました。長田弘さんの故郷の思想は、絵の考え方にとっても影響を与えています。まずは僕のエッセイを紹介いたします。

『福島鉄道物語』第十一話

風景を生きる

作品『急行ノ風』

久しぶりに転んだ。ひざを擦り



むいてジクジクする。

(はちが当たったのかな)さつき田んぼのあぜ道を歩いてきた。イナゴやバッタが驚いて田んぼの方へ飛んでいくのが面白くて、調子に乗ってガサガサと草むら歩き。するとシラサギ達が向こう側の土手に舞い降りた。(三羽も：珍しい)真っ白で無垢な美しさに目を奪われ舗装道路に変わったことに気付かず、アスファルトとの段差につまずいた。

「ああ・・」と僕は普段出さない太い声を挙げて転んだのである。ジーンズのひざが5センチぐらい破れて、右ひじと右ひざに擦り傷を負った。血が滲んで少し痛い。しかも傷口が汚れ、ティッシュで拭いてみたが土を

擦り込んだだけだ。(ウーロン茶で湿らして拭くか)とリュックの奥の方にあるボトルを探した。

(転ぶの誰かに見られてたかな・・)リュックに手を入れたまま見渡すと誰もいない。でも何となく視線を感じる。黄色く透き通った稲穂の先にカメラキリがいた。美しい草緑色で首

が太いオオカマキリだ。「そんなににらむなよ、すぐいなくなるから。」そう言いながらゴソゴソと措置をした。汚れをふき取ると、僕はゆつくり深呼吸をする。ふんわりとわらの香り、そして焼けた草の匂いがした。

(そういえばこの匂い、子供の頃いつも感じていたなあ)有機的に洗練されないこの匂いを、鼻の悪い父が「いい匂いだべ・・」と言っていた記憶のかけらが現れた。

(そうだよ。これはいい匂いだよな・・)転んで地面から近くなったせいで強く匂いを感じた。そのまま風景を見渡すと普段の目線よりも世界が身近で何倍も広く見える。

そして稲穂と稲穂の間を吹き抜ける風のように視線を遠くに飛ばすと、奥羽山脈の山並みが見えた。程良い大きさの雲も秋風に気持ち良さそうに流されていく。

しばらくその情景を眺めていたら、急に詩人の長田弘さんの言葉思い出した。

「人は風景を生きる存在だ。」数々の詩を通して長田さんは伝える。そして「人の思想や文化は育ってきた風景の感受からしか生まれてこない。」と。

大震災直後さえ、いつでも風景を慈しむことが大事」と言っていた長田さん、同じ福島出身でこれほど故郷の風景を感覚的にそしてリベラルに表現できる詩人を僕は知らない。

(風景の中にある見えないものを見る力も大切だと言っていたなあ)「おまえは長田さんの言ったことを理解するのに、どうしてそ

の感覚を直ぐに忘れてしまうんだ？」オオカマキリがそんな目で僕を威嚇してきた。

「だって仕方ないじゃないか？日々は忙しく、時代は目まぐるしく変わるから、慈しむ感覚は、すぐにどこかに置き忘れてしまっただ。」と僕は答える。

「お前は近くしかみていない。遠くの山並みを見てみる。空を見てみる。川の位置は変わったか。家並みは変わり、人たちも変わり、時代は変わっても、風も雲も山の形も変わらないじゃないか。」とオオカマキリは言いたげだ。

「だって・・」と言い訳しようとした時、大切なことを思い出した。「あっ・・そうだ・・僕は実りの田んぼにある踏切をスケッチ取

福島民報創刊二三〇周年記念展
絵と映像とエッセイで綴る
齋 正機展 2022

福島今昔物語

令和4年 4月2日(土)～5月8日(日) (休館日/4月11日(金)・25日(金))
とうほう・みんなの文化センター 3階展示室 観覧券無料(5-54)
(福島県文化センター)
開館時間 午前10時～午後5時 (最終入館 午後4時30分)

材に来てたんだった。」

(次の絵は、この踏切を汽車が通り過ぎる風と匂いを描いてみよう) 奥羽山脈はおおらかに僕を見守り、空を見上げると、さっきの雲達は秋風に乗って僕の知らない次のステージに行ったみたいだ。ようやく重い腰をあげると、オオカマキリが名残惜しそうに僕を見つめていた。

(令和元年十月二十一日

福島民報朝刊掲載)

僕は東高を卒業して、二十歳で福島市を離れました。その後三十六年間、画家として全国いろいろな風景を見てきました。

やはり長田さんの言う通り、何を見るときも、育ってきた福島市、吾妻連峰、信夫山、阿武隈川の形と比べてしまいます。どうやら、僕の絵画思想の礎です。

前回の展覧会から三年、今回の齋正機展二〇二二では、福島の現在と昔を、絵とエッセイと映像で表現し、未来の福島に思いを寄せる『福島今昔物語』という展覧会を開催します。

もしかしらたら、新型コロナウイルスで様々な変更が出るかもしれないですが、新聞、ラジオ、テレビで告知がいきますので、開催の際はどうぞ高覧よ

ろしくお願ひします。

〔絵と映像とエッセイで綴る〕 齋正機展二〇二二 『福島今昔物語』

【開催期間】

令和四年四月二日(土) から

五月八日(日)

【場所】

とうほう・みんなの文化センター

三階展示室

【問い合わせ】

福島民報社事業局

〇二四(五三二)四一七一

【齋 正機(さい まさき)】

本名：齋藤 正機(東高二期生)

(さいとう まさき)

一九六六年福島市生まれ 日本

画家 両口屋是清美術顧問

東京藝術大学美術学部絵画科日

本画専攻卒業 同大学院修了

日動画廊が主催する油絵の登竜

門・昭和会展で日本画家として

初めて昭和会賞受賞

東邦銀行のカレンダー十二年目

となり、また福島民報で『福島

鉄道物語』を執筆

齋正機オフィシャルサイト

<https://masaki-sai.jindo.com/>

齋正機後援会

<https://masaki-sai-kouenkai.jindo.com/>

齋正機後援会事務局

メールアドレス：masaki.sai.kouenkai@gmail.com

転任者の言葉

保健体育科 岩倉 徹

今年度の人事異動で福島商業高等学校から本校に着任しました。自分自身平成四年三月に卒業したので三十年ぶりの東高での生活が始まりました。高校時代に一番入室したくなかった体育準備室に常駐しながら勤務する自分に違和感を感じながらも母校に勤務できることを嬉しくもありました、身の引き締まる思いをしています。

北校舎は大規模改修もあり木のぬくもりを感じる明るい教室へと変わり男子校だった自分たちの時代と異なり女子の生徒たちも入学し、三十年という時間の流れ、時代の変化を感じています。時が流れても我が母校に入学してくる生徒たちの思いは今も昔も変わらないように思います。そんな先輩たちに私から言わない方がいい八つの言葉を紹介いたします。

自分が普段どんな言葉を使っているかで人生は圧倒的に変わる。
「幸せじゃない」「うまくいかない」「悩みが尽きない」「成功しない」「夢が叶わない」「自分は最悪」

と思っている人が使う八つの共通語。これらの言葉は使わない方がいい。

①無理(絶対無理)

・言葉に出すとためらいが増える。
・やればできるのにやらなくなってしまう。

②最悪

・「最悪」と言っているうちは最悪ではない。
・この言葉を言い続けていると決して良い方向にはいかない。

③わからない

・本当に考えた？ 人に聞いた？
・考える前に「わからない」という癖はついていない？

④面倒くさい

・この言葉を口にするとなりが重くなつて動かなくなる。
・疲れた

⑤疲れた

・疲れるくらい何かやることがあるということに感謝すること。

⑥むずかしい

・難しいことをやると成長できる。だから挑戦する。

⑦自分のことで精一杯

・これを言う人は周りの人も神様も仏様も力を貸してくれなくなる。

苦しいときこそ、苦しい人

の話聞いてあげたり、手伝ってあげたりすること。「人のため」は必ず「自分のため」になる。

⑧絶対に許さない

・これを言う人は残念ながら苦しみから抜け出せない。なぜなら、自分がミスをしたとき、次は自分が許されない人になるからである。

・許さなければ自分も許されない。

・何のために許すか？

それはその人のためだけでなく「自分」のためでもある。

人は毎日使うネガティブな言葉を封印するだけで、間違いなく人生を変えることができる。

毎日がむしろに学習や部活動に取り組み日々を送る後輩たちにネガティブな言葉を使うことなく自分の夢や目標に向かって前向きに取り組んでいってほしいです。三年間という短い時間の中で東高生の誇りとプライドを胸に。

編集後記

福島東高校同窓会会報第十八号発行にあたり、同窓会会長様をはじめ多くの皆様方に御多用のところ、原稿や資料を御寄稿頂き厚く御礼申し上げます。

今年度は、感染対策を講じながらでありましたが、各種行事や多くの部活動で大会が開催され、昨年度とは若干異なる学校生活となりました。東高校の伝統のひとつである「マラソン大会」は今年度も中止となりましたが、自分が担当する二学年の修学旅行が十一月に実施できました。保護者の方からも御心配の声もありましたが御理解が得

られ、その後も何事もなく終えることができました。

改めて、生徒が中心となる学校行事が行えることで学校らしさを取り戻すことができたなど感じました。だからこそ「つい毎年行われるから」ではなく「よい良い学校行事になるためには」という視点も必要ではないかなとも考えるきっかけとなりました。それとともに、今年度の三年生も多くの我慢を強いられ、各行事を実施できたその裏には我慢をしている人、理解をしていてくれる人がいることも忘れてはいけないなと思えました。さて、今回の同窓会会報では総会の資料を掲載させて頂き、書面決議という形をとらせてい

ただくこととなります。本来二月に予定されている同窓会総会が中止となりますので、資料を御確認いただき同封のハガキを持って表決をお願いいたします。なお、資料について不明な点がございましたら事務局へご連絡いただけますようお願いいたします。また、総会の実施方法につきましても今後事務局の方で検討していきますので、今回の書面決議につきましても何卒御理解いただきますようよろしくお願いいたします。

昨年発行した第十七号は、新型コロナウイルスという目に見えない敵の恐怖や不安で先の見えない状況の中での発行となりました。同窓生の皆様におかれ

まして、一年経った今も苦しい状況が続いている方もいるのではないかと思います。この大変な中でも同窓会会報を手に取り少しでもお読みいただいたことに感謝申し上げます。

この会報では少しでも多く生徒の記事を載せ、皆様が学生の時のことを思い出していただき、旧友と久しぶりに連絡を取るきっかけになれば嬉しく思います。コロナ禍で制限があります。Zoomをはじめ様々なICTツールが発達したことで、オンラインではあっても人とは繋がりがやすくなっています。顔を突き合わせてリアルに繋がれる日常に戻るまでまだまだ時間はかかるかと思いますが、この

状況が落ち着いてリアルに繋がる日常に戻った際には、会長あいさつにもあるようにまた多くの同窓生の皆様から直接のお声を聞かせていただければ大変ありがたいと思っております。

結びになりますが、同窓生の皆様方におかれましては、大変な中ではございますが今後とも本校の教育活動に対し、御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

(二十期生 羽田 真幸)

令和2年度 転出者

Table with 3 columns: 職名, 氏名, 転出先. Lists staff departures for the 2022 fiscal year.

教諭の日高郁子先生におかれましては、令和3年3月2日にご逝去されました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

令和3年度 転入者

Table with 5 columns: 職名, 氏名, 前勤務先, 教科. Lists staff arrivals for the 2023 fiscal year.

令和3年度 教育実習生 (同窓生のみ)

Table with 6 columns: 氏名, 実習教科, 期生. Lists education interns for the 2023 fiscal year.